

平成25年5月16日

お知らせ

資料提供先

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者会
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成25年度 中国地方整備局関係予算概要

事業実施箇所の当初配分(県別)については、国土交通省のホームページ

<http://www.mlit.go.jp/policy/file000004.html> をご覧下さい

電話でのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

TEL082-221-9231(代表)

(港湾空港関係)

TEL082-511-3900(代表)

【予算一般】	会 計 課 長	片 桐 元 宣	(直通:082-511-6041)
【総 括】	企 画 課 長	岡 本 弘 基	(直通:082-511-6111)
【都市・住宅】	都市・住宅整備課長	島 村 泰 彰	(直通:082-511-6191)
【河川・直轄】	河 川 計 画 課 長	田 中 里 佳	(直通:082-511-6231)
【河川・補助】	地 域 河 川 課 長	佐 藤 秀 樹	(直通:082-511-6241)
【道路・直轄】	道 路 計 画 課 長	嶋 田 博 文	(直通:082-511-6301)
【道路・補助】	地 域 道 路 課 長	角 田 真 一	(直通:082-511-6311)
【港 湾】	港 湾 計 画 課 長	前 川 健	(直通:082-511-3905)
【空 港】	港湾空港整備・補償課長	服 部 俊 朗	(直通:082-511-3907)
【営 繕】	計 画 課 長	橋 本 一 洋	(直通:082-511-6381)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官
環境調整官

坂 本 繁 幸
江 角 忠 也

平成25年度 中国地方整備局関係予算概要

1. 配分方針

(1) 平成25年度国土交通省関係予算については、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)に基づき、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化した予算を計上したところである。

(2) これを踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、命と暮らしを守る防災・減災対策、老朽化対策の推進に加え、基幹的交通インフラ等の整備推進を図り、我が国の成長のための基盤を強化するとともに、地域活性化等の課題に適確に対応する。

具体的には

- ・道路・河川管理施設等の総点検、老朽化対策等
- ・社会資本の適確な維持管理・更新に向けた取組
- ・地域における総合的な老朽化対策、防災・減災対策の集中的支援(防災・安全交付金)
- ・物流ネットワークなど基幹ネットワークの整備
- ・国際コンテナ戦略港湾の機能強化
- ・成長力強化のための社会資本の総合的整備(社会資本整備総合交付金)

などについて地域の実情や要望等を勘案し、配分を行う。

2. 予算の規模

中国地方整備局関係予算総事業費 4,681億円(前年比1.17倍)※1

うち { 直轄事業費 1,775億円(前年比0.95倍)
補助事業費 2,906億円(前年比1.37倍)※1

<内 訳>

- | | |
|-----------|---------|
| ・河川関係 | 404億円 |
| ・道路関係 | 1,373億円 |
| ・港湾空港関係 | 200億円 |
| ・都市・住宅関係 | 50億円 |
| ・営繕関係 | 10億円 |
| ・社会資本総合整備 | 2,645億円 |

※1 地域自主戦略交付金の廃止等による

国土交通省全体事業費(配分額) 7兆2,550億円(前年比1.08倍)	
うち	直轄事業費 2兆3,086億円(前年比1.00倍) 補助事業費 4兆9,464億円(前年比1.13倍)

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※社会資本総合整備に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

※社会資本総合整備は、防災・安全交付金、社会資本整備総合交付金の事業費を合計したものである。

3. 予算の概要

<河川関係> [404億円(0.85)]

国民の安全を守るため、災害の起こりやすさや災害が発生した際に想定される被害の程度を考慮しつつ、平成24年7月の九州の災害、平成23年9月の紀伊半島の災害等を教訓として、再度災害防止対策を集中的に実施するとともに、危機管理体制の充実を図りつつ、堤防の点検結果に基づく緊急対策や、土砂災害対策、国土保全上重要な海岸保全など、予防的な治水対策を重点的に実施します。

また、豊かな河川環境を再生し、川の魅力をいかした都市・地域づくりをさらに進めるため、地方公共団体や住民等と連携した総合的な取組を実施します。

◇新規 おおたがわ 太田川流域治水整備事業（やぐちがわ 矢口川総合内水緊急対策事業）
【広島県・河川直轄】

◇完成 せんだいがわ 千代川一般河川改修事業（いなつね 稲常地区）【鳥取県・河川直轄】

てんじんがわ 天神川一般河川改修事業（いわき 巖城地区）【鳥取県・河川直轄】

ひいかわ 斐伊川一般河川改修事業（のぼら 野原地区）【島根県・河川直轄】

あさひがわ 旭川特定構造物改築事業（ひやっけんがわ 百間川河口水門）

【岡山県・河川直轄】

あさひがわ 旭川流域治水整備事業（旭川総合内水緊急対策事業）

【岡山県・河川直轄】

しょうばら 広島県庄原地区砂防激甚災害特別緊急対策事業

【広島県・河川補助】

ほうふさんけい 防府山系直轄特定緊急砂防事業 【山口県・河川直轄】等

＜道路関係＞〔1, 373億円（0.97）〕

地域の暮らしを守るため、老朽化する道路施設を適切に維持管理できるよう、安全性の徹底調査・総点検、老朽化対策を重点的に実施するとともに、道路の防災・震災対策等を推進します。

あわせて、活力ある中国地方の地域づくりを推進するため、山陰側や山陰・山陽を連絡するネットワークや、中山間地域と周辺都市を連絡する基幹ネットワークなどの基盤整備の強化を図るとともに、安全で安心な社会活動を支援していくため、通学路対策などの安全で快適な環境づくりを進めてまいります。

◇完成（部分完成）

中国横断自動車道	おのみちまつえ 尾道松江線	【広島県・道路直轄】
国道2号	ひがしひろしま 東広島バイパス	【広島市・道路直轄】
国道2号	ひろしまみなみ 広島南道路	【広島市・道路直轄】
国道9号	しちやま 駈馳山バイパス	【鳥取県・道路直轄】
国道9号	とっとりにし 鳥取西道路	【鳥取県・道路直轄】
国道9号	なかやま なわ 中山・名和道路	【鳥取県・道路直轄】
国道9号	なわ よどえ 名和・淀江道路	【鳥取県・道路直轄】
国道9号	にま ゆのつ 仁摩・温泉津道路	【島根県・道路直轄】
国道54号	かべ 可部バイパス	【広島市・道路直轄】
国道431号	ひがしはやしぎ 東林木バイパス	【島根県・道路補助】等

◇平成25年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討
(計画段階評価を進めるための調査)

島根県 山陰道 ふくみつ こうつ 福光～江津

鳥取県 山陰道 だいえいとうはく はわい～大栄東伯

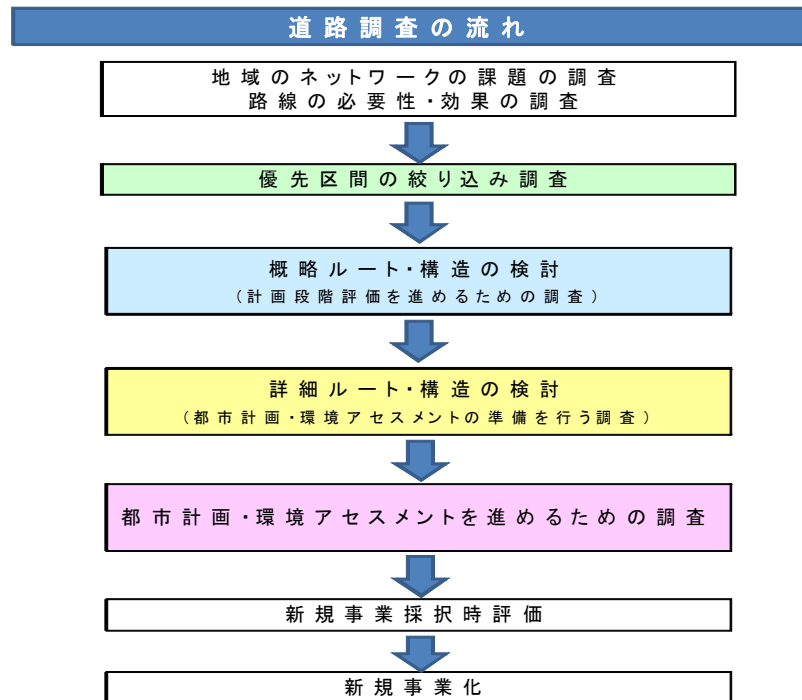
優先区間の絞り込み調査

島根県・山口県 山陰道 すこ はぎ 須子～萩

山口県 山陰道 みすみ おづき 三隅～小月

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。



＜港湾空港関係＞〔200億円（1.06）〕

基礎素材型産業をはじめとする製造業の国際競争力を強化するため、原材料やエネルギー等の安定かつ低コストな輸送に資する国際物流ターミナルや臨港道路等の整備を推進します。併せて、大規模地震発生時における緊急物資等の輸送機能を確保するため、港湾施設の耐震強化や津波・高潮に対する海岸防護機能の強化等を推進します。

また、航行船舶の安全確保や海域環境の保全を図るため、海面清掃船「おんど2000」により、瀬戸内海に浮遊するごみの回収を実施します。

更に、航空機の安全かつ安定した運航を確保するため、広島空港において滑走路の舗装面の劣化の著しい部分の改良整備を推進します。

◇新規 ^{ひろしま} 広島空港滑走路改良整備事業 【広島県・空港直轄】

◇完成 ^{ひろしま} 広島空港道路駐車場（バスプール）改良整備事業

^{みたじりなかのせき} 三田尻中関港防波堤整備事業 【広島県・空港直轄】
【山口県・港湾直轄】

^{とくやまくだまつ} 徳山下松港国内物流ターミナル改良（耐震）事業
【山口県・港湾補助】

＜都市・住宅関係＞〔５０億円（２.１７）〕

低炭素都市づくり、集約型都市構造への転換、都市交通の戦略的な施策の実施など、地域の活性化に向けた取り組みを推進するとともに、下水道・街路・都市公園の整備や住宅・建築物の耐震化、住宅セーフティネットの構築など、地域の創意工夫を活かしたまちづくり・すまいづくりを推進します。

＜営繕関係＞〔１０億円（０.４０）〕

国民の命と暮らしを守るため、官庁施設の地震対策の推進により、防災拠点となる官庁施設等の安全性を確保します。

また、既存施設の危険箇所及び老朽・狭隘の解消については、緊急的に整備の必要があるものに限定して実施し、来訪者等の安全の確保と行政サービスの円滑な提供に最低限必要な水準を確保します。

◇完成 ひろしまこうわん 広島港湾合同庁舎 改修

【広島県・営繕直轄】等

4. 平成25年度 中国地方整備局予算総括表

(1) 全体総括表
【事業費】

(単位：百万円)

区 分	平成25年度			平成24年度			(a/b)
	本省配分	一括配分	計 (a)	本省配分	一括配分	計 (b)	
治 水	26,272	12,709	38,981	34,158	11,960	46,119	0.845
直 轄	17,188	12,709	29,896	25,012	11,760	36,772	0.813
補 助	9,085	0	9,085	9,146	200	9,346	0.972
海 岸	2,176	0	2,176	2,398	0	2,398	0.907
直 轄	2,176	0	2,176	2,398	0	2,398	0.907
道路整備	103,494	33,796	137,290	112,165	29,968	142,133	0.966
直 轄	91,570	33,796	125,366	99,142	29,482	128,624	0.975
補 助	11,924	0	11,924	13,023	486	13,509	0.883
港湾整備	17,954	200	18,154	16,194	400	16,594	1.094
直 轄	17,241	0	17,241	14,173	0	14,173	1.216
補 助	713	200	913	2,021	400	2,421	0.377
空港整備	261	0	261	438	0	438	0.596
直 轄	261	0	261	438	0	438	0.596
住宅対策	3,321	0	3,321	0	0	0	—
補 助	3,321	0	3,321	0	0	0	—
市街地整備	798	0	798	1,157	0	1,157	0.690
補 助	798	0	798	1,157	0	1,157	0.690
都市水環境整備	0	885	885	0	936	936	0.945
直 轄	0	885	885	0	936	936	0.945
国営公園等	846	0	846	1,159	0	1,159	0.730
直 轄	759	0	759	733	0	733	1.035
補 助	87	0	87	426	0	426	0.204
社会資本総合整備	264,462	0	264,462	185,953	0	185,953	1.422
補 助	264,462	0	264,462	185,953	0	185,953	1.422
一 般 公 共 計	419,584	47,589	467,173	353,623	43,265	396,887	1.177
直 轄	129,195	47,389	176,584	141,896	42,179	184,075	0.959
補 助	290,390	200	290,590	211,726	1,086	212,812	1.365
官庁営繕	0	954	954	1,729	651	2,380	0.401
直 轄	0	954	954	1,729	651	2,380	0.401
合 計	419,584	48,543	468,127	355,352	43,915	399,267	1.172
直 轄	129,195	48,343	177,537	143,626	42,829	186,455	0.952
補 助	290,390	200	290,590	211,726	1,086	212,812	1.365
地域再生基盤強化	0	9,863	9,863	0	14,221	14,221	0.694
補 助	0	9,863	9,863	0	14,221	14,221	0.694

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

※港湾及び海岸（港湾分）には、下関市関係を含まない。

※本省配分とは本省において全国的な観点から箇所付けを行うもの

※一括配分とは本省配分以外の事業について、地方整備局が管轄区域内において主体的に箇所付けを行うもの

※社会資本総合整備に配分されている事業費は、配分する国費をもとに推計したものである。

※社会資本総合整備は、防災・安全交付金、社会資本整備総合交付金の事業費を合計したものである。

(2) 補助事業 県別内訳表

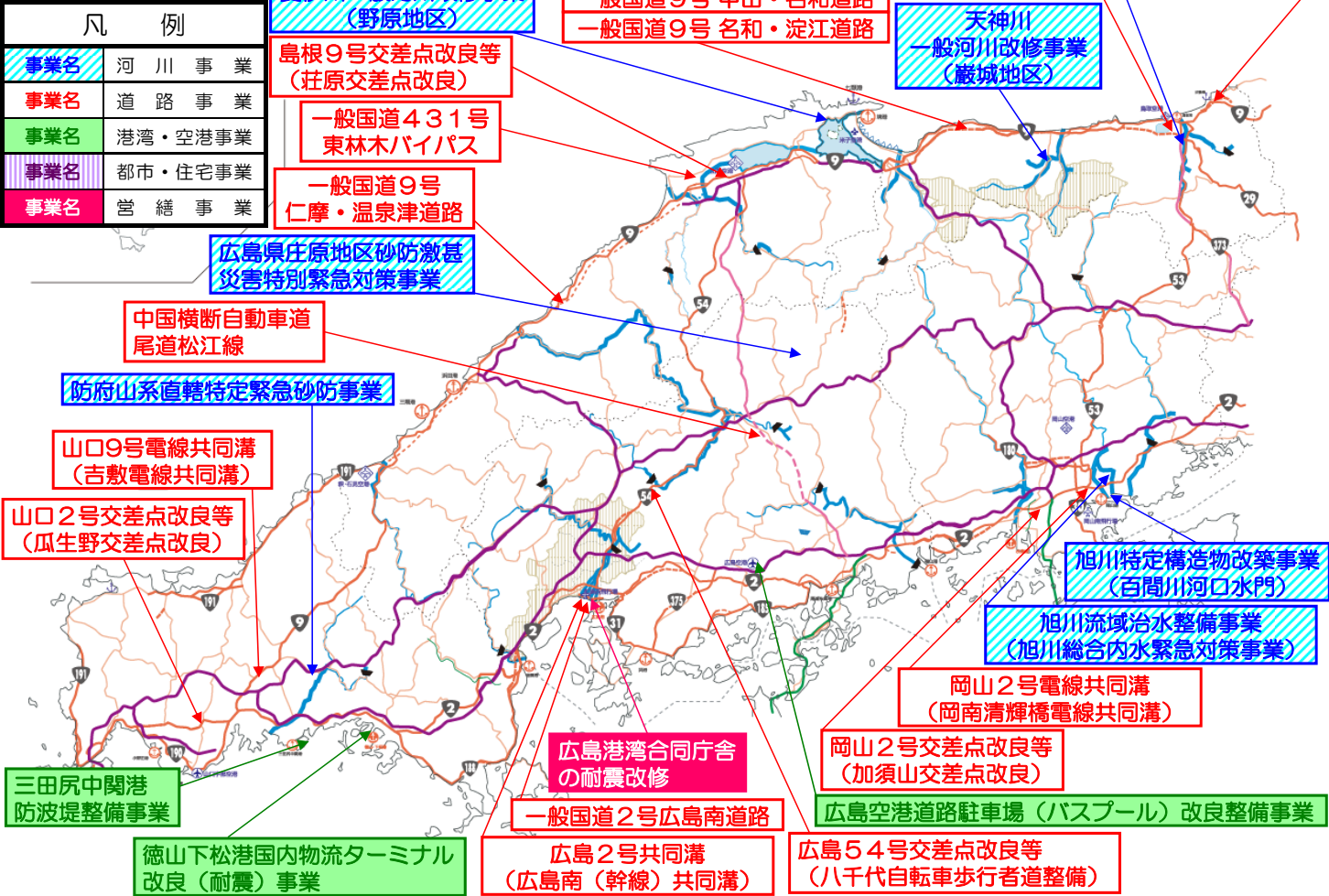
(事業費ベース 単位：百万円)

	鳥 取 県			島 根 県			岡 山 県		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	0	0	0	4,245	0	4,245	0	0	0
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路 整 備	5,400	0	5,400	300	0	300	2,390	0	2,390
港 湾 整 備	213	0	213	0	200	200	30	0	30
住 宅 対 策	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 街 地 整 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会資本総合整備	30,878	0	30,878	51,418	0	51,418	45,149	0	45,149
合 計	36,491	0	36,491	55,963	200	56,163	47,569	0	47,569

	広 島 県			山 口 県			合 計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
治 水	1,315	0	1,315	3,525	0	3,525	9,085	0	9,085
海 岸	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道 路 整 備	974	0	974	2,860	0	2,860	11,924	0	11,924
港 湾 整 備	0	0	0	470	0	470	713	200	913
住 宅 対 策	3,321	0	3,321	0	0	0	3,321	0	3,321
市 街 地 整 備	798	0	798	0	0	0	798	0	798
都市水環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	87	0	87	87	0	87
社会資本総合整備	74,046	0	74,046	62,971	0	62,971	264,462	0	264,462
合 計	80,454	0	80,454	69,913	0	69,913	290,390	200	290,590

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。

5. 平成25年度 主な完成予定事業一覧



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度	番号
鳥取県					
千代川一般河川改修事業（稲常地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-1
天神川一般河川改修事業（巖城地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-2
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定 鳥取IC～鳥取空港IC（仮称）	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 駒馳山バイパス	道路	直轄		H25完成予定	道-3
島根県					
斐伊川一般河川改修事業（野原地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-6
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25完成予定 湯里IC（仮称）～福光IC（仮称）	道-5
島根9号交差点改良等（荘原交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-7
一般国道431号 東林木バイパス	道路	補助	島根県	H25完成予定	道-8
岡山県					
旭川特定構造物改築事業（百間川河口水門）	河川	直轄		H25完成予定	河-11
旭川流域治水整備事業（旭川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		H25完成予定	河-12
岡山2号交差点改良等（加須山交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-10
岡山2号電線共同溝（岡南清輝橋電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-11
広島県					
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特定緊急事業	河川	補助	広島県	H25完成予定	河-19
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H25完成予定 古舎IC（仮称）～三次東JCT・IC	道-13
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定 広島市中区光南～西区観音新町	道-14
広島54号交差点改良等（八千代自転車歩行者道整備）	道路	直轄		H25完成予定	道-15
広島2号共同溝（広島南（幹線）共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-16
広島空港道路駐車場（バスプール）改良整備事業	空港	直轄		H25完成予定	港-10
広島港湾合同庁舎の耐震改修	営繕	直轄		H25完成予定	営-1
山口県					
防府山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		H25完成予定	河-22
山口2号交差点改良等（瓜生野交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-18
山口9号電線共同溝（古敷電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-19
徳山下松港国内物流ターミナル改良（耐震）事業	港湾	補助	山口県	H25完成予定	港-13
三田尻中関港防波堤整備事業	港湾	直轄		H25完成予定	港-15

■都道府県・政令市が管理する道路の平成25年度供用予定事業
【改築事業（バイパス事業、現道拡幅事業等）】

防災・安全交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	備考	
				左記事業が含まれる 社会資本総合整備計画	配分国費 [百万円]
島根県	仁多郡奥出雲町	(一) 印賀奥出雲線（万丈工区）	0.6	災害に強く、安全安心な暮らしを守る道路整備	8,891
広島県	廿日市市	(国) 433号（廿日市拡幅工区）	1.2	広島県における安全・安心な道づくり	5,108
山口県	宇部市	(主) 小野田美東線（吉部工区）	0.6	子どもたちが安心して通学でき、未来につながるやまぐちのみちづくり	894
山口県	周防大島町	(国) 437号（久賀拡幅）	0.4	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,608
山口県	宇部市	(国) 490号（瓜生野工区）	0.2	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,608
山口県	山口市	(一) 山口阿知須宇部線（阿知須浜区～東岐波工区）	0.6	だれもが安心して快適に通行できる交通環境を目指したやまぐちのみちづくり	3,608

社会資本整備総合交付金

事業主体	事業実施箇所	事業名	延長 (km)	備考	
				左記事業が含まれる 社会資本総合整備計画	配分国費 [百万円]
鳥取県	鳥取市	(主) 鳥取河原用瀬線（嶋工区）	1.2	高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援	800
鳥取県	岩美町	(一) 岩美インター線	0.6	高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援	800
鳥取県	米子市、南部町	(国) 180号（南部BP）	2.8	高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援	800
島根県	益田市	(国) 488号 長沢バイパス	1.8	地域資源を活かした地域の活性化と安心安全な生活を支える基盤整備	1,537
島根県	松江市	(主) 松江鹿島美保関線（瀬崎工区）	0.4	地域資源を活かした地域の活性化と安心安全な生活を支える基盤整備	1,537
島根県	松江市	(主) 松江木次線（東忌部工区）	0.6	地域資源を活かした地域の活性化と安心安全な生活を支える基盤整備	1,537
岡山県	新見市	(主) 新見川上線（正田TN）	1.1	おかやま夢づくりプランによる快適生活県おかやまの創出	1,507
広島県	安芸郡熊野町荻原 ～東広島市黒瀬町津江	(主) 矢野安浦線（荻原～津江工区）	2.8	高速道路IC等へのアクセス向上による新たな経済成長	2,050
広島県	竹原市	(一) 竹原吉名線（久保谷工区）	1.0	広島都市圏の中枢拠点機能向上と周辺地域の魅力ある地域づくりの支援	686
山口県	宇部市	(国) 490号（宇部拡幅）	0.6	高速交通拠点や物流拠点へのアクセス向上による、やまぐちの産業力・観光力の強化を図るみちづくり	1,125
山口県	周南市	(一) 串戸田線（木屋ヶ迫～柚木河内工区）	0.7	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,446
山口県	下関市	(主) 豊浦菊川線（小串工区）	1.3	新たな活力を創造し、安全で快適なやまぐちのみちづくり	1,446
広島市	広島市安芸区	安芸1区平原線（中野東）	3.2	直轄国道バイパス及び指定都市高速道路へのアクセス向上に資する道路整備	168
広島市	広島市安芸区	安芸1区中野瀬野線（上瀬野工区）	0.3	直轄国道バイパス及び指定都市高速道路へのアクセス向上に資する道路整備	168
広島市	広島市中区～広島市西区	広島南道路	3.6	都市基盤となる骨格道路等整備	769

6.主要事業箇所

事業別集計表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業（稲常地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-1
天神川一般河川改修事業（巖城地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-2
斐伊川一般河川改修事業（境港地区）	河川	直轄		—	河-3
大山山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-4
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-5
斐伊川一般河川改修事業（野原地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-6
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-7
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・穴道湖）	河川	直轄		—	河-8
江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）	河川	直轄		—	河-9
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業（高潮・堤防液状化対策）	河川	直轄		—	河-10
旭川特定構造物改築事業（百間川河口水門）	河川	直轄		H25完成予定	河-11
旭川流域治水整備事業（旭川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		H25完成予定	河-12
旭川総合水系環境整備事業（古京地区（旭川かわまちづくり）	河川	直轄		—	河-13
高梁川一般河川改修事業（巻倒地区）	河川	直轄		—	河-14
江の川総合水系環境整備事業（畠敷地区（三次市八次水辺の楽校）	河川	直轄		—	河-15
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-16
太田川流域治水整備事業（矢口川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		—	河-17
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-18
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特定緊急事業	河川	補助	広島県	H25完成予定	河-19
広島県庄原生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	—	河-20
佐波川一般河川改修事業（奈美地区）	河川	直轄		—	河-21
防府山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		H25完成予定	河-22
山口県厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	河川	補助	山口県	—	河-23
河川管理施設の戦略的な維持管理（中国地方整備局管内直轄13水系）	河川	直轄		—	河-24

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定 鳥取C～鳥取空港IC(仮称)	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 駒馳山バイパス	道路	直轄		H25完成予定	道-3
鳥取53号交差点改良等（市瀬歩道整備）	道路	直轄		H26完成予定	道-4
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-5
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26,H28完成予定	道-6
島根9号交差点改良等（荘原交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-7
一般国道431号 東林木バイパス	道路	補助	島根県	H25完成予定	道-8
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		H26完成予定	道-9
岡山2号交差点改良等（加須山交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-10
岡山2号電線共同溝（岡南清輝橋電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-11
一般国道374号 湯郷勝央道路（延伸）	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-12
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-13
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定 広島市中区光南 ～西区観音新町	道-14
広島54号交差点改良等（八千代自転車歩行車道整備）	道路	直轄		H25完成予定	道-15
広島2号共同溝（広島南（幹線）共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-16
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-17
山口2号交差点改良等（瓜生野交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-18
山口9号電線共同溝（古敷電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-19
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	H26完成予定	道-20

○港湾・空港整備事業

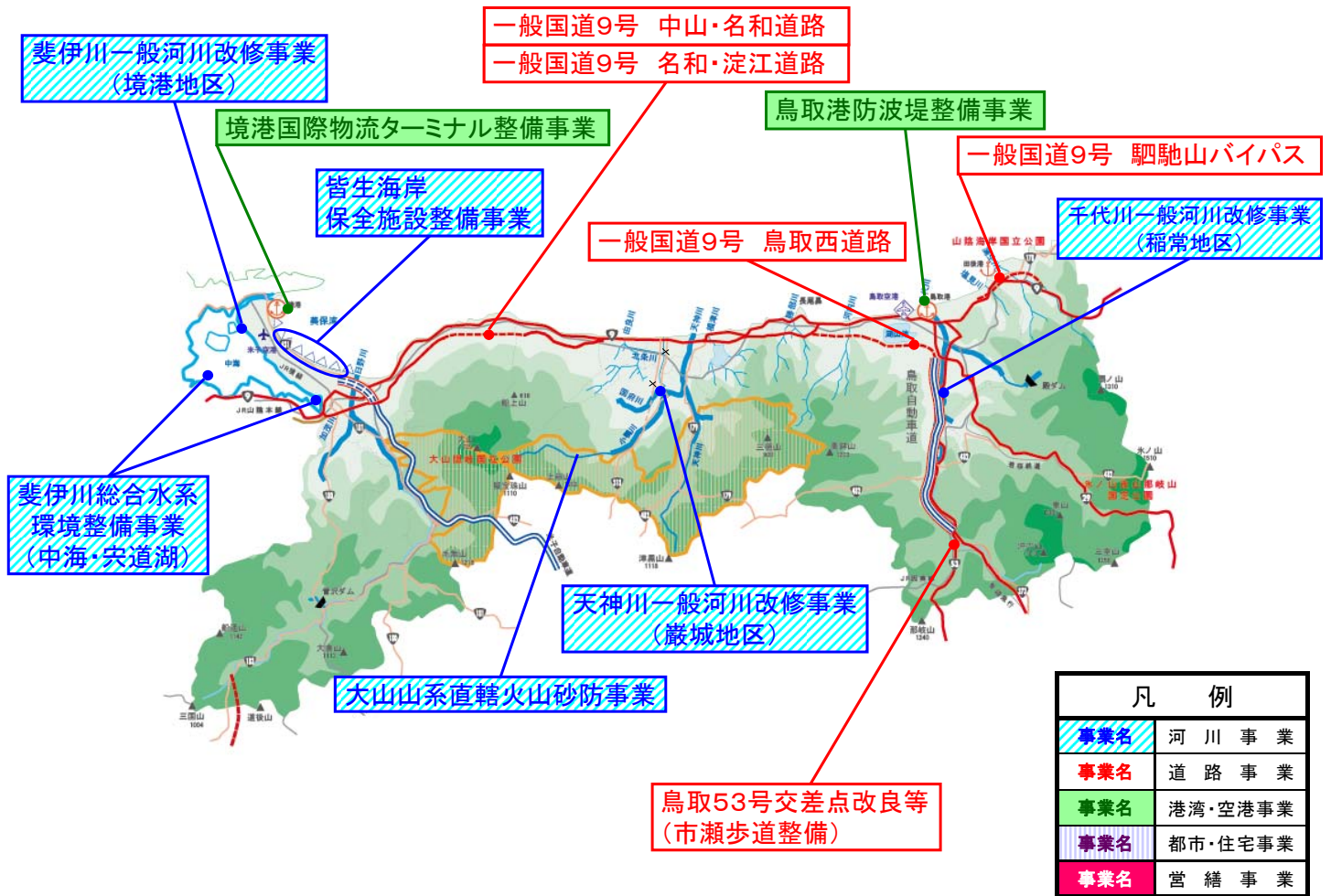
事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄・補助	国・鳥取県	H26完成予定	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-2
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-3
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定 (部分)	港-4
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-5
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-6
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄		—	港-7 ※
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
海洋環境整備事業	港湾	直轄		—	港-9
広島空港道路駐車場（バスプール）改良整備事業	空港	直轄		H25完成予定	港-10
広島空港滑走路改良整備事業	空港	直轄		新規着手	港-11
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-12
徳山下松港国内物流ターミナル改良（耐震）事業	港湾	補助	山口県	H25完成予定	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定 (部分)	港-14
三田尻中関港防波堤整備事業	港湾	直轄		H25完成予定	港-15
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-16

※河-16に掲載

○営繕事業

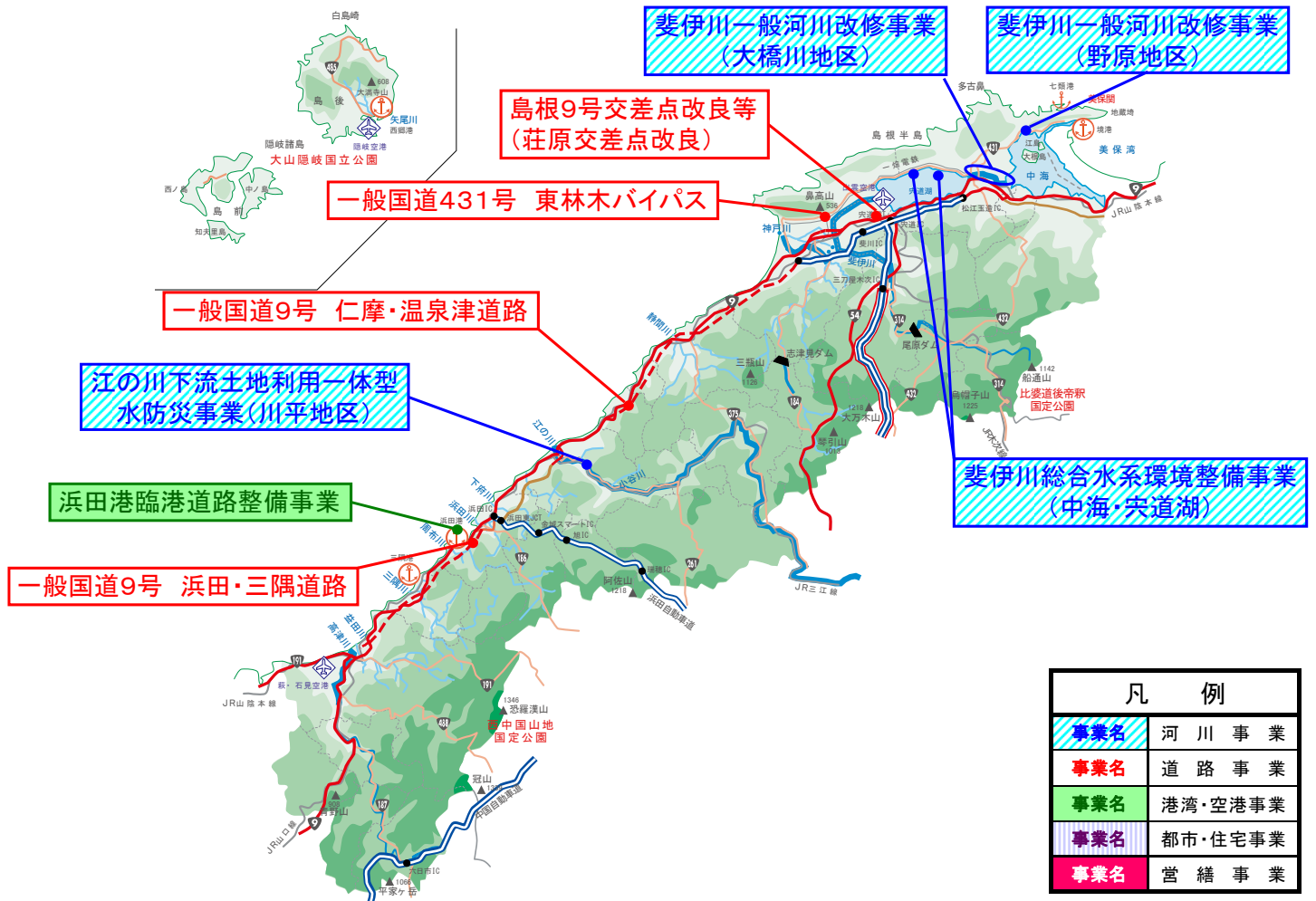
事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
広島港湾合同庁舎の耐震改修	営繕	直轄		H25完成予定	営-1

主要事業箇所【鳥取県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
千代川一般河川改修事業 (稲常地区)	河川	直轄		H25完成予定	河-1
天神川一般河川改修事業 (巖城地区)	河川	直轄		H25完成予定	河-2
斐伊川一般河川改修事業 (境港地区)	河川	直轄		—	河-3
大山山系直轄火山砂防事業	河川	直轄		—	河-4
皆生海岸保全施設整備事業	河川	直轄		—	河-5
斐伊川総合水系環境整備事業 (中海・宍道湖)	河川	直轄		—	河-8
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		H25完成予定 鳥取IC～鳥取空港IC(仮称)	道-1
一般国道9号 中山・名和道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		H25完成予定	道-2
一般国道9号 駟馳山バイパス	道路	直轄		H25完成予定	道-3
鳥取53号交差点改良等 (市瀬歩道整備)	道路	直轄		H26完成予定	道-4
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄・補助	国・鳥取県	H26完成予定	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-2

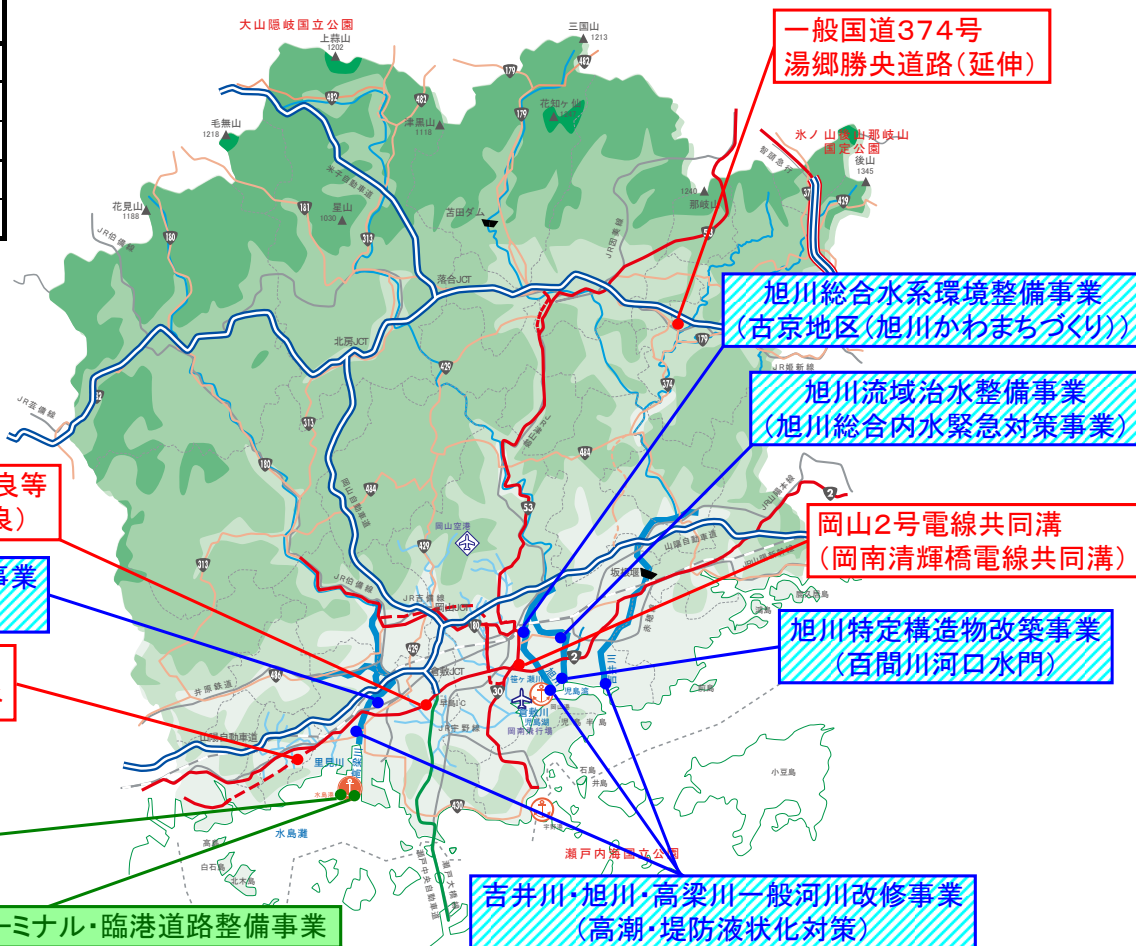
主要事業箇所【島根県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
斐伊川一般河川改修事業（野原地区）	河川	直轄		H25完成予定	河-6
斐伊川一般河川改修事業（大橋川地区）	河川	直轄		—	河-7
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	河川	直轄		—	河-8
江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）	河川	直轄		—	河-9
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-5
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		H26,H28完成予定	道-6
島根9号交差点改良等（荘原交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-7
一般国道431号 東林木バイパス	道路	補助	島根県	H25完成予定	道-8
浜田港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-3

主要事業箇所【岡山県】

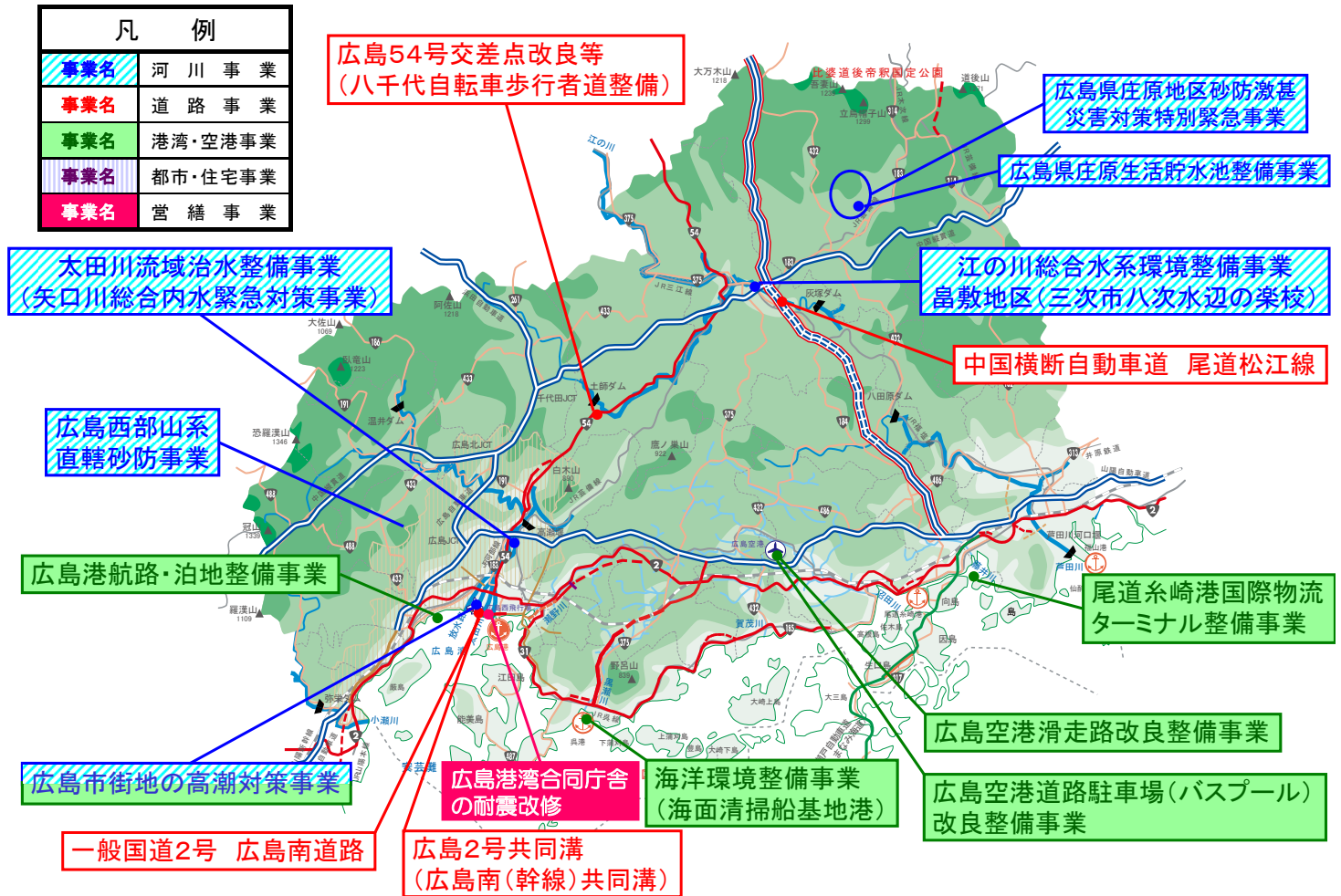
凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業（高潮・堤防液状化対策）	河川	直轄		—	河-10
旭川特定構造物改築事業（百間川河口水門）	河川	直轄		H25完成予定	河-11
旭川流域治水整備事業（旭川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		H25完成予定	河-12
旭川総合水系環境整備事業（古京地区（旭川かわまちづくり））	河川	直轄		—	河-13
高梁川一般河川改修事業（巻倒地区）	河川	直轄		—	河-14
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		H26完成予定	道-9
岡山2号交差点改良等（加須山交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-10
岡山2号電線共同溝（岡南清輝橋電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-11
一般国道374号 湯郷勝央道路（延伸）	道路	補助	岡山県	H27完成予定	道-12
水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	港湾	直轄		H28完成予定（部分）	港-4
水島港廃棄物海面処分場整備事業	港湾	補助	岡山県	—	港-5

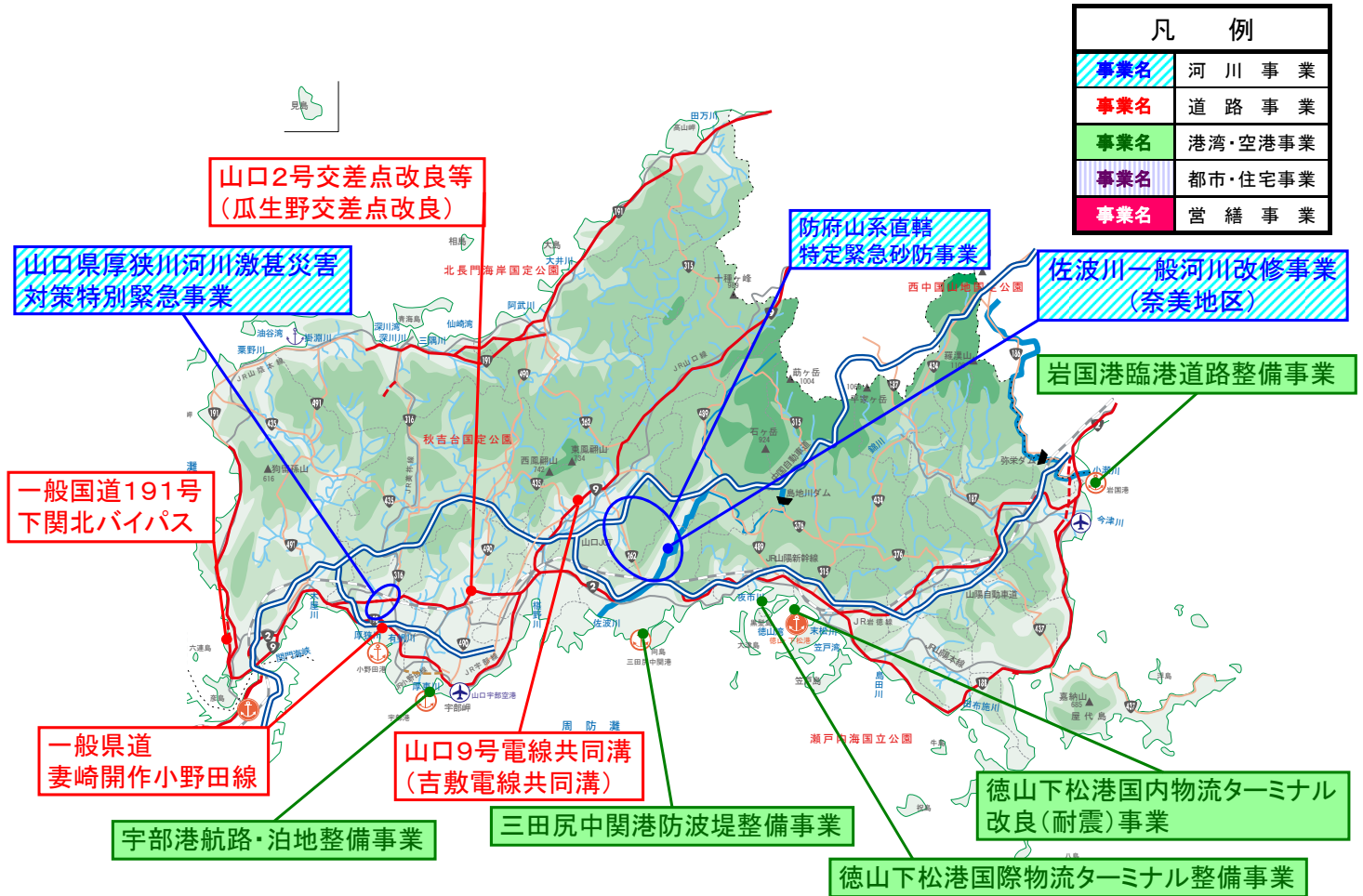
主要事業箇所【広島県】

凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港 湾・空 港 事 業
事業名	都 市・住 宅 事 業
事業名	営 繕 事 業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
江の川総合水系環境整備事業（畠敷地区（三次市八次水辺の楽校）	河川	直轄		—	河-15
広島市街地の高潮対策事業	河川・港湾	直轄・補助	国・広島県	—	河-16 港-7
太田川流域治水整備事業（矢口川総合内水緊急対策事業）	河川	直轄		—	河-17
広島西部山系直轄砂防事業	河川	直轄		—	河-18
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特定緊急事業	河川	補助	広島県	H25完成予定	河-19
広島県庄原生活貯水池整備事業	河川	補助	広島県	—	河-20
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H25,H26完成予定	道-13
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		H25完成予定 広島市中区光南 ～西区観音新町	道-14
広島54号交差点改良等（八千代自転車歩行車道整備）	道路	直轄		H25完成予定	道-15
広島2号共同溝（広島南（幹線）共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-16
広島港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-6
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
海洋環境整備事業	港湾	直轄		—	港-9
広島空港道路駐車場（バスプール）改良整備事業	空港	直轄		H25完成予定	港-10
広島空港滑走路改良整備事業	空港	直轄		新規着手	港-11
広島港湾合同庁舎の耐震改修	営繕	直轄		H25完成予定	営-1

主要事業箇所【山口県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
佐波川一般河川改修事業（奈美地区）	河川	直轄		—	河-21
防府山系直轄特定緊急砂防事業	河川	直轄		H25完成予定	河-22
山口県厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業	河川	補助	山口県	—	河-23
一般国道191号 下関北バイパス	道路	直轄		H26完成予定	道-17
山口2号交差点改良等（瓜生野交差点改良）	道路	直轄		H25完成予定	道-18
山口9号電線共同溝（吉敷電線共同溝）	道路	直轄		H25完成予定	道-19
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	H26完成予定	道-20
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-12
徳山下松港国内物流ターミナル改良（耐震）事業	港湾	補助	山口県	H25完成予定	港-13
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		H27完成予定（部分）	港-14
三田尻中関港防波堤整備事業	港湾	直轄		H25完成予定	港-15
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-16

せん だい がわ
千代川一般河川改修事業
いな つね
(稲常地区)

事業費 381 百万円
※千代川水系全体

河-1

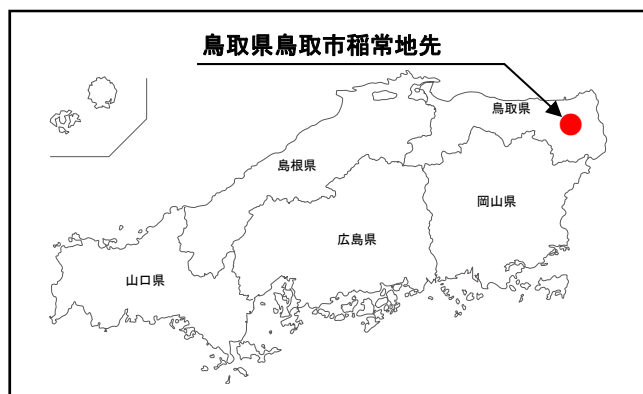
完成予定

【事業概要】

当該地区の堤防は断面が不足しているため、流下能力が著しく不足しているとともに、過去には堤防の裏斜面から漏水の実績があり、堤防の必要な断面を確保するとともに、堤防の浸透対策が必要です。

このため、流下能力確保のための堤防整備及び浸透対策を実施しています。

平成25年度は、引き続き堤防整備及び浸透対策を実施し、当該地区の完成を目指します。



凡 例	
H24年度末迄:	
H25年度予算:	
H26年度以降:	



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の昭和54年10月洪水が発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

天神川一般河川改修事業
(巖城地区)

事業費 496 百万円
※天神川水系全体

河-2

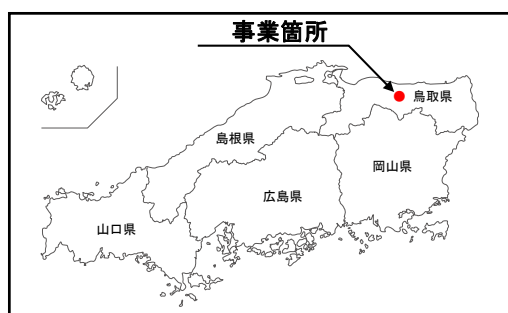
完成予定

【事業概要】

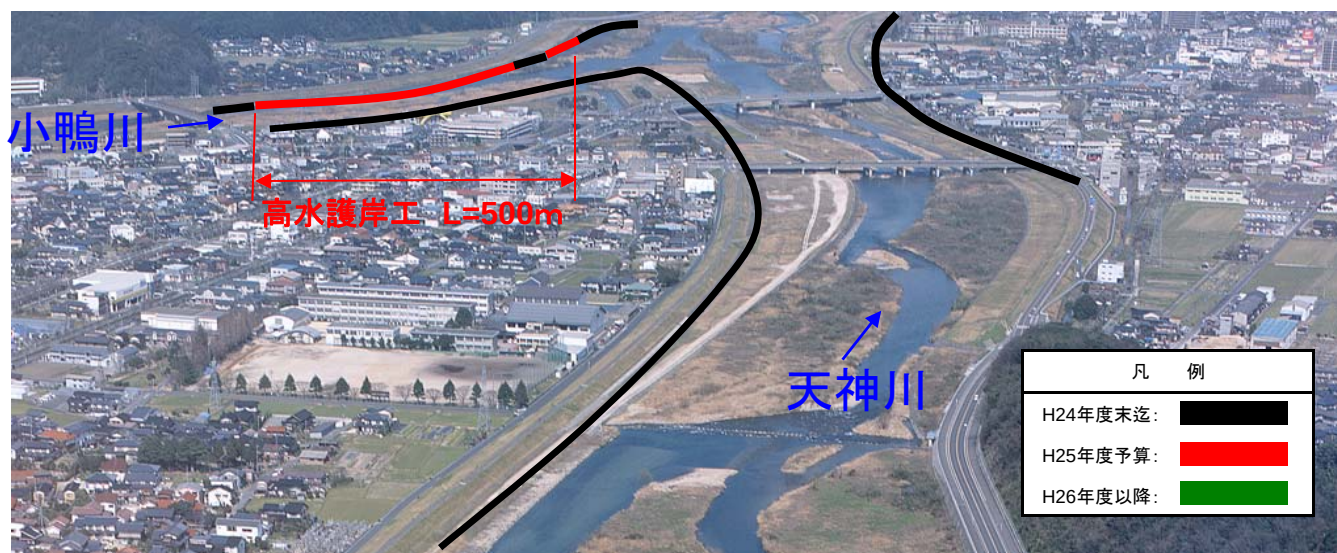
天神川は急流河川であることから、洪水時には流速が早く、堤防等の侵食の危険性が高く、過去には河岸侵食等の被害が多数発生しています。

当該地区は、資産・人口の集中する天神川下流左岸の小鴨川合流点付近に位置し、堤防決壊に対する安全度確保の観点から侵食対策が必要です。

平成25年度は、侵食対策である護岸工を実施し、天神川下流左岸の侵食対策を一連で完成させます。



管内の過去災害においても、堤防法面が侵食され事例頻発



期待される整備効果

洪水により河岸や堤防の侵食が進行した場合には、堤防決壊等の重大な災害が発生する可能性があります。ひとたび堤防が決壊した場合、宅地側へ洪水がはん濫し、家屋損壊・浸水等の甚大な被害が発生するおそれがあります。

当該地区において、河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

ひ い かわ
斐伊川一般河川改修事業
 さかいみなと
(境港地区)

事業費 3, 932 百万円
 ※斐伊川水系全体

河-3

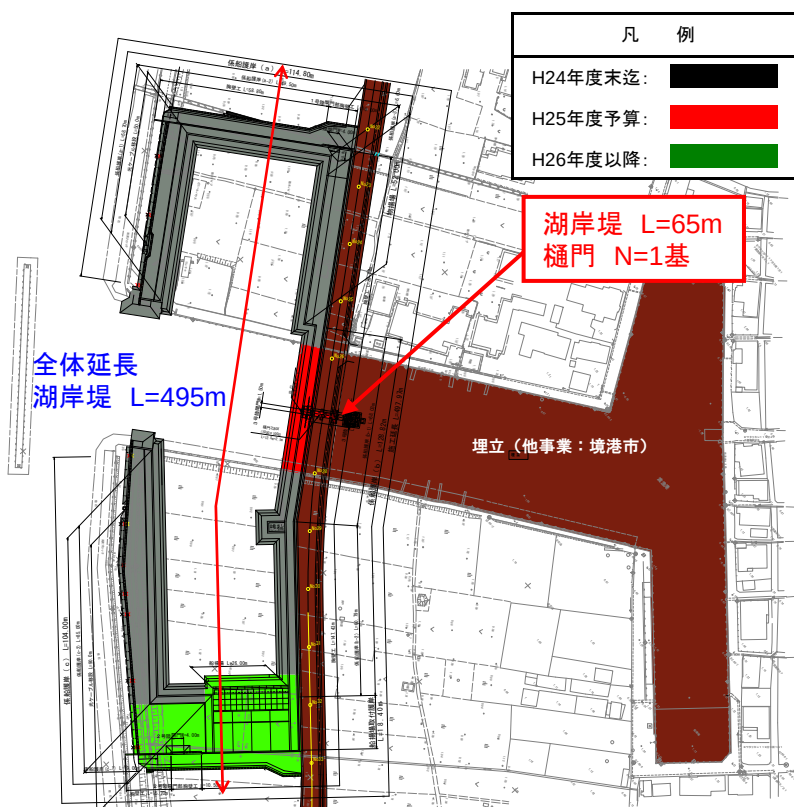
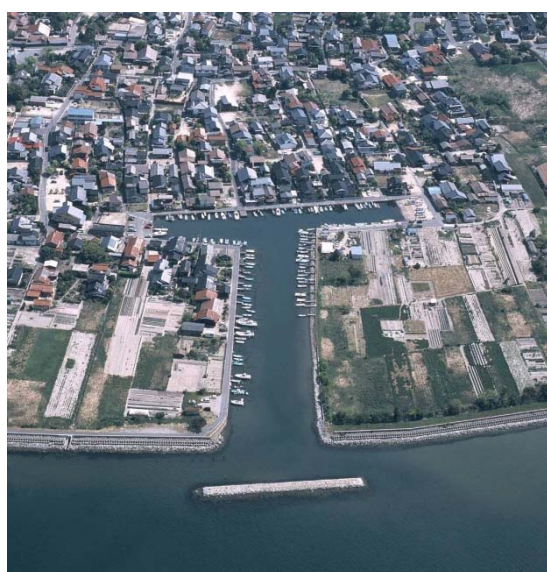
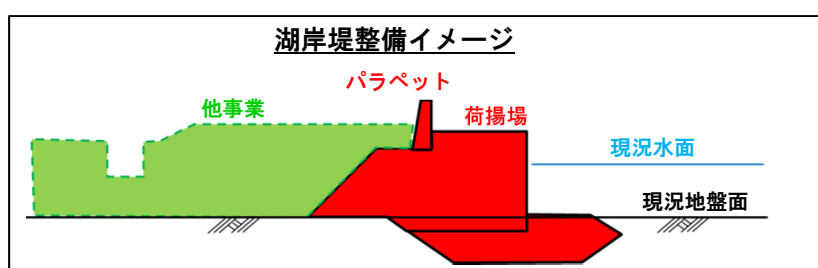
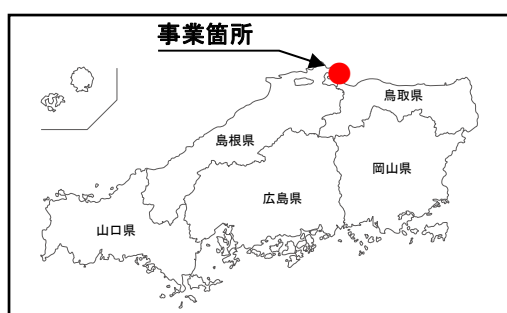
事業推進

【事業概要】

当該地区は、宅地の地盤高が低く湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害（H14、H15、H16）を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための湖岸堤の整備を実施しています。

平成25年度は、引き続き湖岸堤の整備・樋門整備等を実施します。



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮（既往最高水位）が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

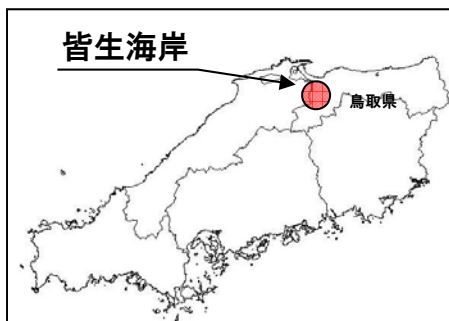
事業推進

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には浸食されやすい火山堆積物や風化した花崗岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、再度災害防止を目的として砂防堰堤等の整備を実施しています。

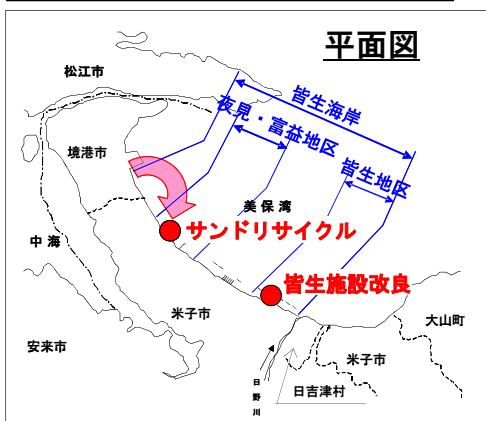
平成25年度も引き続き、天神川水系（小鴨川流域、天神川本川流域）と日野川水系において砂防施設の整備を推進します。



事業推進



皆生海岸の侵食対策として、皆生地区において、沖合侵食により機能低下した離岸堤の機能回復を図るため、施設改良（人エリーフ化）を実施します。また、富益地区においては、砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



皆生地区における施設改良
(人エリーフ化)



サンドリサイクル施工前 (撮影日H17.12.27)



サンドリサイクル施工後 (撮影日H18.3.8)



▲サンドリサイクルにより砂浜を保全

施設改良の効果



▲サンドリサイクルにより砂浜を保全



期待される整備効果

- ・機能が低下している皆生地区の海岸保全施設の機能回復を図り、海岸侵食による被害を防止します。また、水平線が見渡せるなど景観改善や、波打ち際の勾配が緩くなることで海水浴等の利用がしやすくなるといった効果も期待できます。
- ・白砂青松の豊かな自然が残る富益地区において、海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

ひ い かわ 斐伊川一般河川改修事業 の ばら (野原地区)

事業費 3, 932 百万円
※斐伊川水系全体

河-6

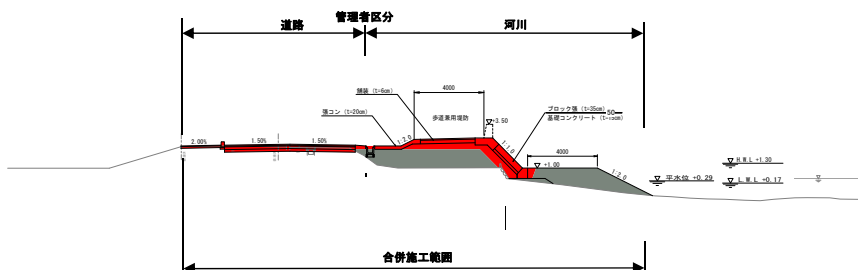
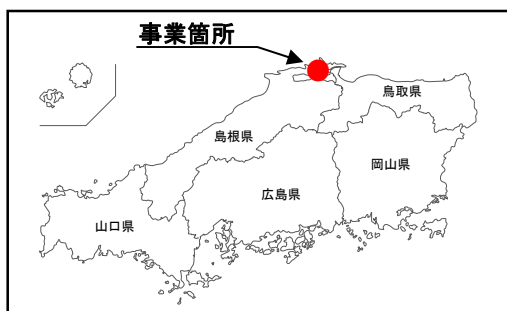
完成予定

【事業概要】

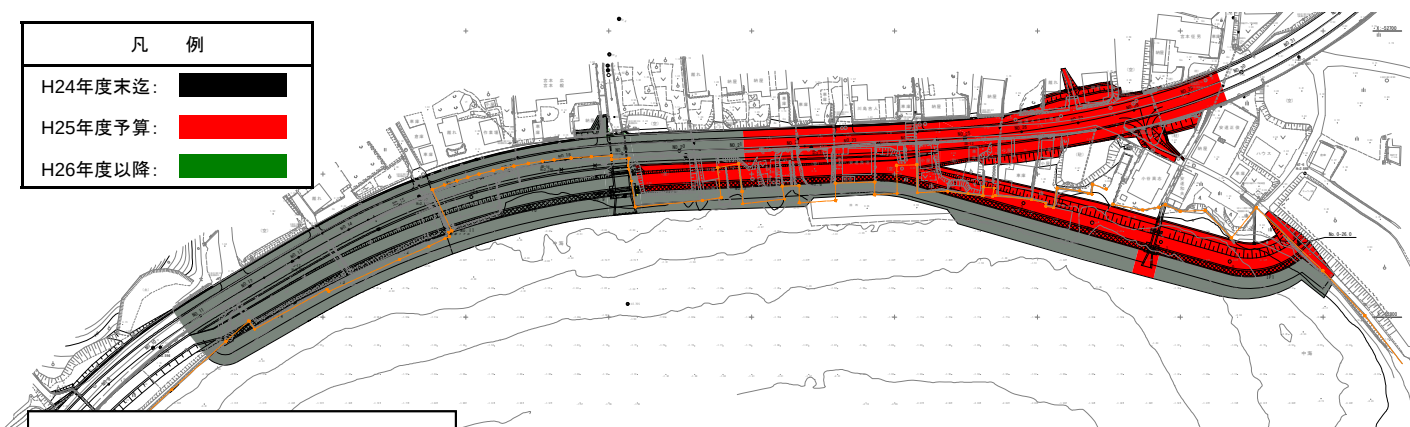
当該地区は、宅地の地盤高が低く湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害（H14、H15、H16）を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための湖岸堤の整備を実施しています。

平成25年度は、引き続き道路改良事業との合併により、湖岸堤の整備を実施し、事業の完成を目指します。



凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、平成15年9月高潮（既往最高水位）が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひ い かわ
斐伊川一般河川改修事業
おお はし かわ
(大橋川地区)

事業費 3, 932 百万円
※斐伊川水系全体

河-7

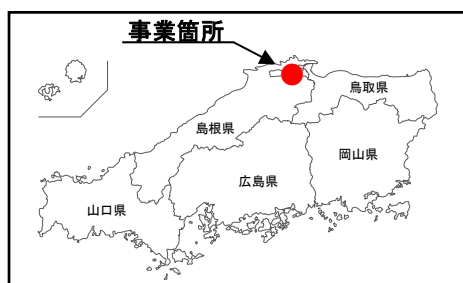
事業推進

【事業概要】

大橋川は「水の都松江」を象徴する風情ある水辺景観を醸し出す川である反面、沿川は堤防が未整備であるとともに、上下流の2箇所に狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨をはじめ、平成18年7月豪雨により、山陰地方の中心都市である県都松江の中心市街地が浸水するなど、甚大な被害が発生しました。

大橋川改修は、斐伊川治水計画（①上流部のダム建設、②中流部の放水路建設と本川改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備）の一つで、平成23年8月に大橋川中流追子地区の堤防整備工事に着手しました。

平成25年度は、引き続き堤防整備・天神川上流の水門新設、用地補償等を実施します。



H18.7浸水状況: 東本町(松江市)



期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひ い かわ
斐伊川総合水系環境整備事業
 なか うみ しん じ こ
(中海・宍道湖)

事業費 592 百万円
 ※斐伊川水系全体

河-8

事業推進

【事業概要】

中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。

そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂も実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

平成25年度は、引き続き、中海においては浅場造成及び覆砂、宍道湖においては浅場造成を実施します。



宍道湖や中海の殆どが人工湖岸です。
 (事例: 宍道湖のコンクリート護岸)

藻場の再生
 (中海整備箇所)

整備箇所の浅場では魚介類
 の増加が見られる
 (中海整備箇所)

期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。

アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

江の川下流土地利用一体型水防災事業
(川平地区)

事業費 699 百万円

河-9

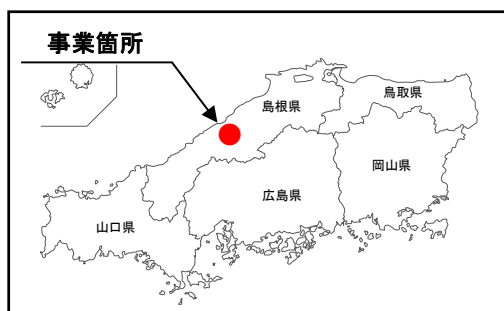
事業推進

【事業概要】

当該地区は、昭和47年7月洪水で134戸の家屋浸水被害が発生し、近年でも平成11年に25戸、平成18年に10戸の家屋浸水被害が発生しています。

当該地区は、周辺の土地利用の状況等に配慮し、地域住民合意のもと、宅地嵩上げを主体とする土地利用一体型水防災事業により家屋浸水被害の防止を図ります。

平成25年度は、地盤改良、築堤工事、家屋補償、用地買収等を実施します。



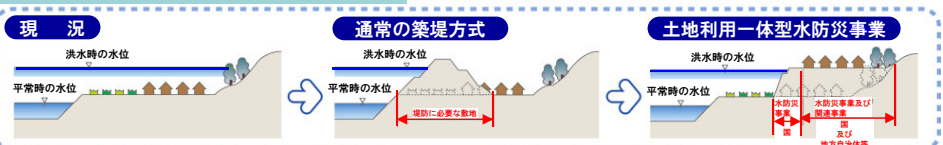
凡 例
H24年度末迄:
H25年度予算:
H26年度以降:



(平成18年7月洪水：江津市川平町付近)



■土地利用一体型水防災事業のイメージ



期待される整備効果

事業実施により、戦後最大の昭和47年7月洪水が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業

河-10

(高潮対策・堤防液状化対策)

事業費 2,501 百万円
※3水系全体

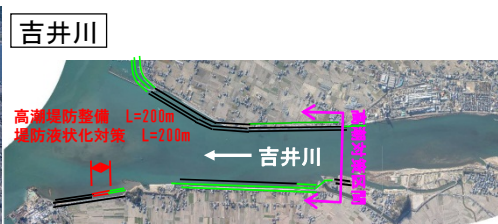
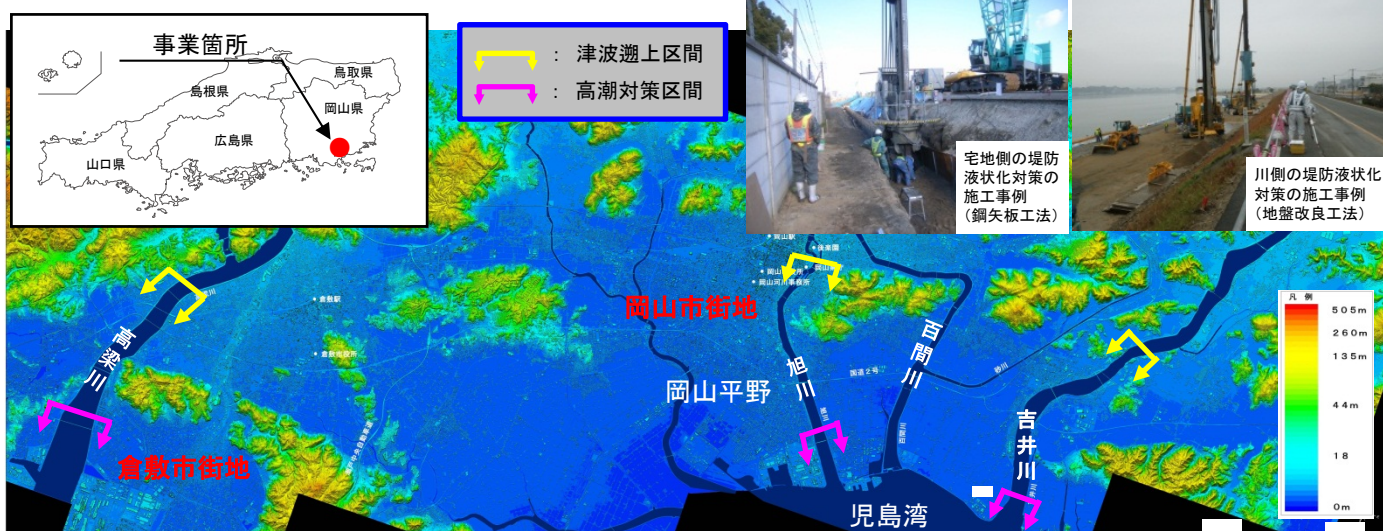
事業推進

【事業概要】

岡山平野は、過去からの干拓により形成された「ゼロメートル地帯」が広がっています。このため、吉井川・旭川・高梁川の河口部の沿川地区においては、平成16年の度重なる台風の襲来による高潮の影響により浸水被害が発生し、早期の高潮堤防の整備が必要です。このため、各河川の各河口部において高潮堤防の整備を実施しています。

また、平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」、平成23年3月に発生した「東日本大震災」を教訓として、地震による液状化現象により河川堤防等が被災し、河川水や津波等がはん濫した場合に、甚大な浸水被害が発生するおそれがあるため、堤防液状化対策が必要です。このため、河川管理施設の耐震性照査を実施し、河川堤防の耐震性が不足する区間において、堤防の液状化対策を実施しています。

平成25年度は、引き続き高潮堤防の整備を実施するとともに、堤防の液状化対策等を実施します。



凡 例	
H24年度末迄:	
H25年度予算:	
H26年度以降:	

期待される整備効果

高潮堤防の整備が概成することにより、平成16年8月の既往最高潮位が再び発生しても、浸水家屋戸数の軽減が図られます。

また、大規模地震による液状化等による堤防の被災等を軽減することで、堤内地への河川水等の氾濫による二次被害が軽減されます。

旭川特定構造物改築事業

事業費 979 百万円

河-11

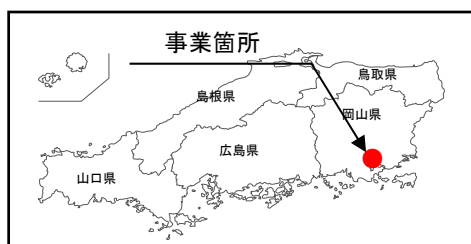
完成予定

【事業概要】

旭川放水路（百間川）の堤防整備が概成しており、早期に放水路の事業効果を発揮するためには、現在の河口水門のみでは流下能力が著しく不足（河川整備計画で旭川放水路に流す洪水流量の5割程度）しているため、河口水門の増設が必要です。

このため、平成13年度より百間川河口水門の増設に着手し、平成24年度末までに新しい水門が概ね完成しています。

平成25年度は、既設防潮堤の撤去、仮設物の撤去等を実施し、事業の完成を目指します。

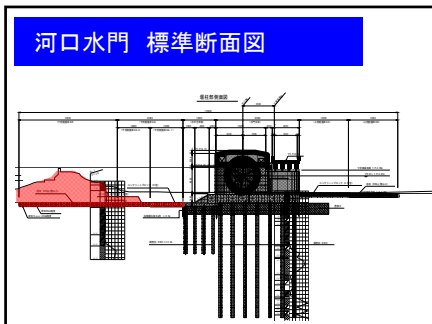


現在の進捗状況(H25.3)

下流より新設ゲートを望む



河口水門 標準断面図



期待される整備効果

百間川河口水門の増設により、百間川下流部において、流下能力が向上することで、河川整備計画で目標とする洪水流量を安全に流すことが可能となり、浸水被害の軽減が図られます。

旭川流域治水整備事業

事業費 175 百万円

河-12

(旭川総合内水緊急対策事業)

完成予定

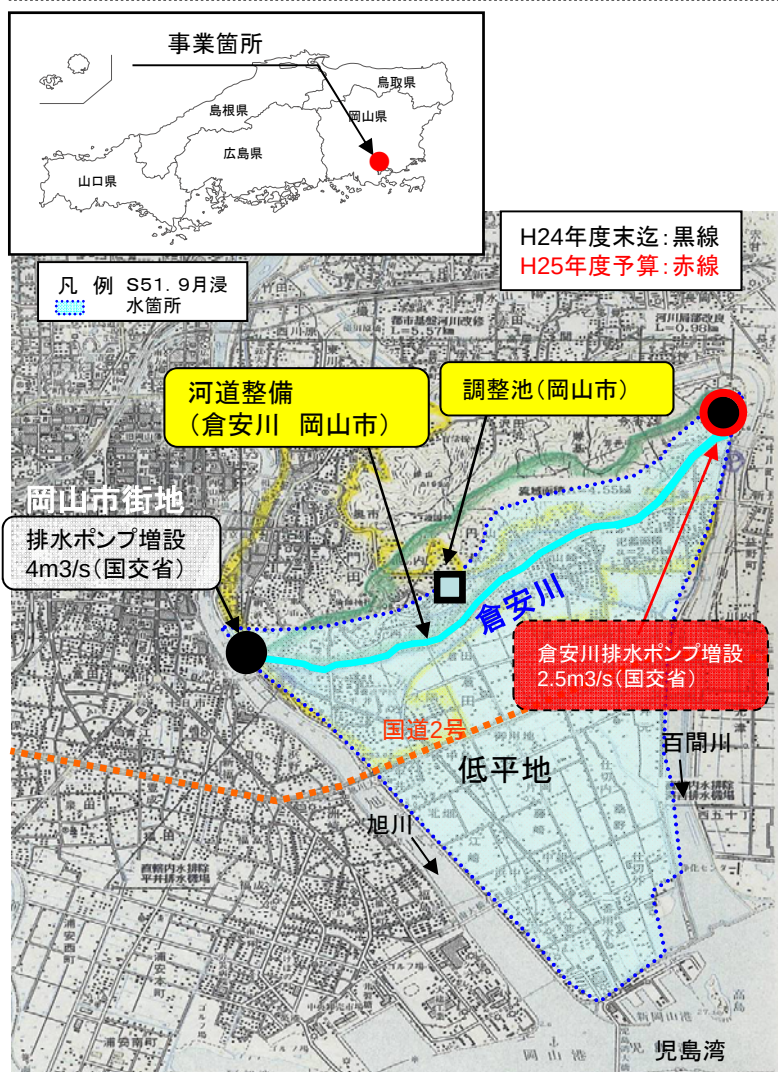
【事業概要】

旭川と百間川を結ぶ支川倉安川^{くらやすがわ}では、昭和51年9月洪水により1,160戸にも及ぶ大きな浸水被害が発生しており、近年においても平成23年9月に浸水被害が発生するなど、局地的な集中豪雨の頻発により、度々浸水被害が発生しています。

このため、平成21年度より、河川管理者と地域が一体となって、排水ポンプ場、河川改修、調整池、その他関連する雨水排水対策施設の整備等のハード対策に合わせ、流域における流出抑制、土地利用規制等のソフト対策を重層的に実施するために「総合内水緊急対策事業」により内水対策を実施しています。

このうち国土交通省では、平成24年度に平井排水ポンプ場のポンプ増設を完成させました。

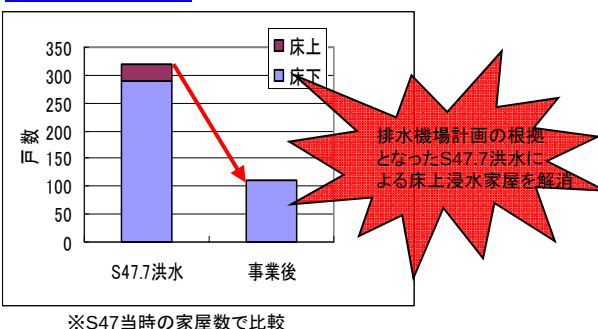
平成25年度は、引き続き倉安川排水ポンプ場のポンプ増設を実施し、事業の完成を目指します。



近年の内水被害状況 (H23.9台風12号)



事業の効果



完成イメージ



期待される整備効果

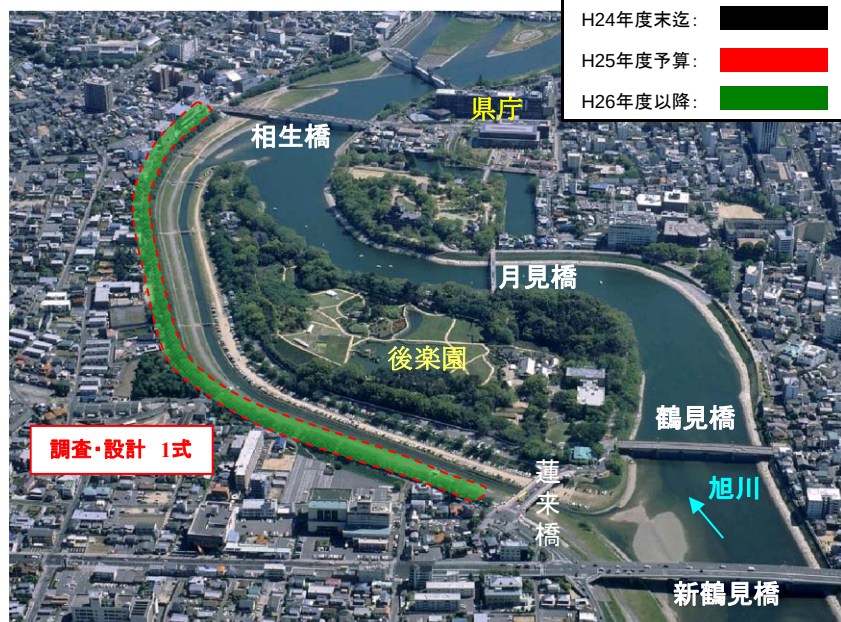
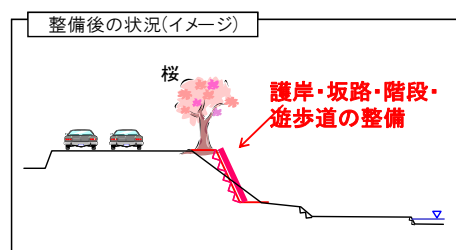
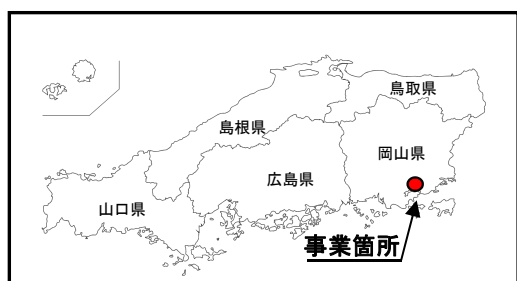
排水ポンプを増設することにより、総合内水対策計画の目標である、昭和47年7月と同規模の洪水が発生した場合においても、内水はん濫面積を軽減し、家屋の床上浸水被害の防止が図られます。

【事業概要】

旭川水系旭川の古京箇所の「さくらみち」は、岡山市の中心部で、歴史的文化施設が集中している岡山カルチャーゾーンと呼ばれている地域に位置しており、樹齢50年を超え老木化が進行し、植え替えが必要な桜が堤防に多数存在しています。

地域の方々が実施する桜の植え替えと連携して、安全かつ周遊性、利便性に優れた空間の整備を行うことにより、地域の活性化を目指します。

河川管理者である国土交通省では、植樹基準に適合した護岸整備を実施します。



凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色



期待される整備効果

地域の方々による桜の植え替え、河川管理者による護岸等の整備により、「旭川さくらみち」の安全性、利便性が向上し、岡山市街地の活性化に寄与します。

江の川総合水系環境整備事業

事業費 14 百万円
※江の川水系全体

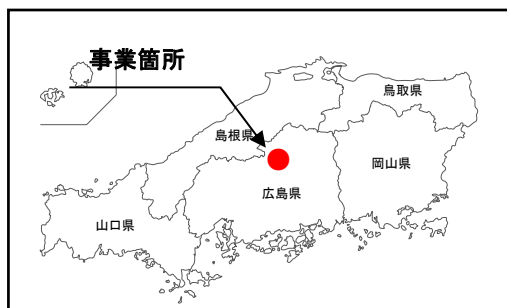
河-15

はたじき みよし やつぎ みずべ がっこう
(畠敷地区(三次市八次水辺の楽校))

事業推進

【事業概要】

地域の個性やニーズに対応した河川整備を行うため実施している「地域と連携した川づくり」の中のひとつの施策として、子ども達の自然体験や環境学習に安全・安心な河川利用ができるようにするための水辺空間の整備を行います。河川管理者である国土交通省では、ワンド・浅場や通路の整備を実施します。



凡	例
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色

期待される整備効果

河川管理施設の整備及び自治体が東屋・トイレを一体として整備することで、自然体験や環境学習の活動、日常利用など児童や地域住民の河川利用の安全性を確保し、河川利用者及びレクリエーションの増大、地域活性化にも貢献できます。

【事業概要】

「ゼロメートル地帯」の広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、大規模な地震による液状化現象が発生した場合には、既存の堤防等が沈下・崩壊する可能性があり、満潮時には河川水や海水が市街地へ流入し、甚大な浸水被害が発生する恐れがあります。

このため、広島市街地を高潮被害から防御することを目的として、高潮対策事業を実施しています。

なお、早期に事業を完成させるため、市・県・国の河川事業と海岸事業が連携して高潮対策事業を推進しています。



凡例:

河川直轄整備区間



河川補助計画区間



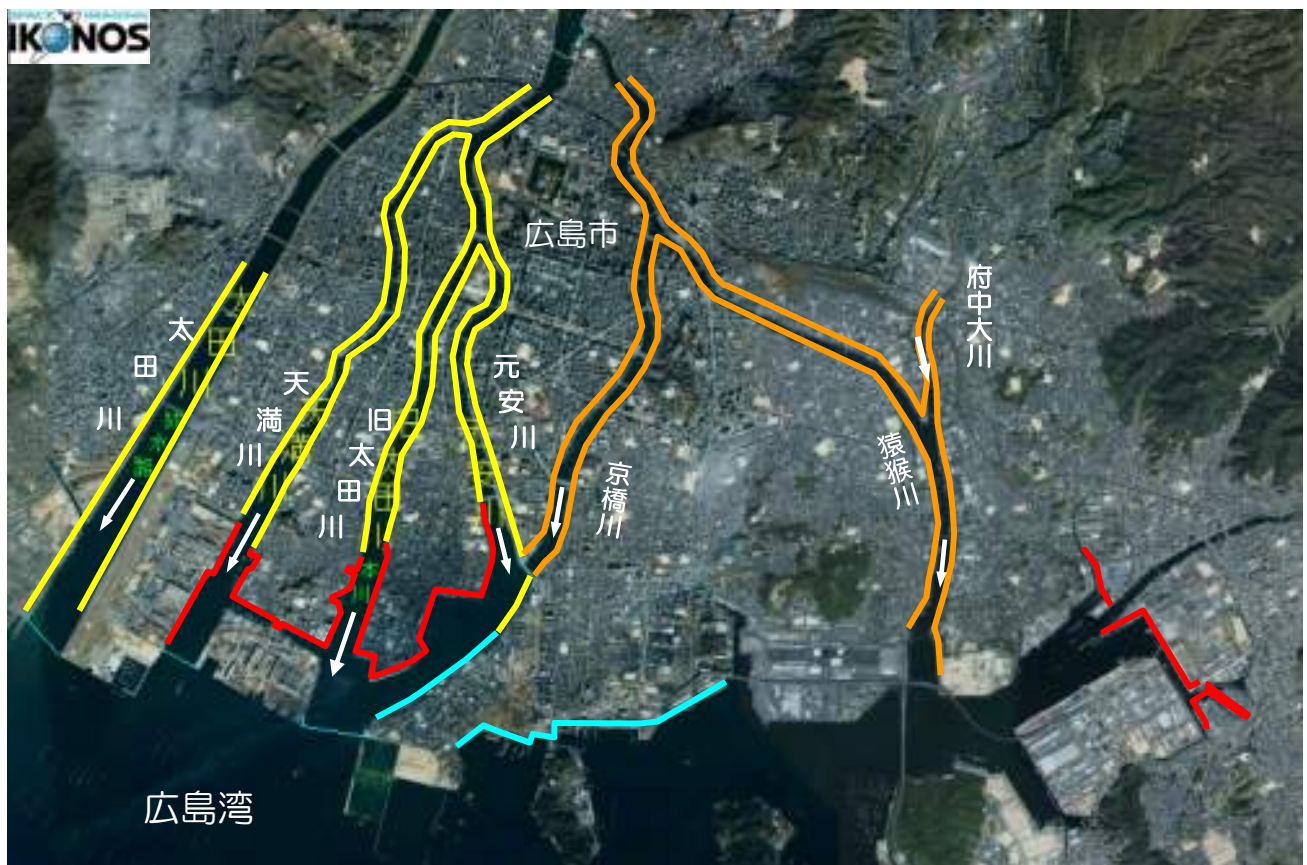
海岸直轄整備区間



海岸補助計画区間



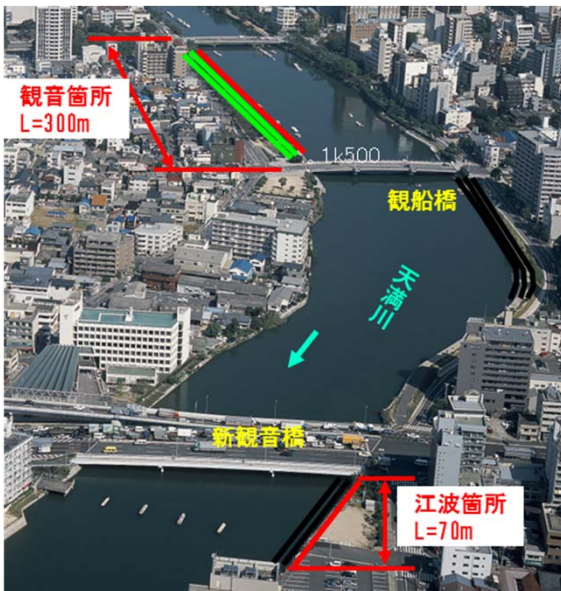
注) 河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)



河川事業区間について

広島市街地では、近年度々（H3、H11、H16（観測史上最高潮位を観測 TP+2.96m））高潮による浸水被害が発生しており、浸水被害が発生した区間を「再度災害防止区間」に位置づけ重点的に整備を進め、平成24年度には当該区間においては、再度災害防止の目標堤防高（T.P. +3.40m）を整備済みです。

平成25年度は、天満川の観音地区及び江波地区において、高潮堤防の整備を実施します。



海岸事業区間について

広島市街地は、平成16年の台風等、過去数次に渡り高潮被害を受けております。また、今後の50年間で9割以上の確率での発生が予測されている東南海・南海地震への対策も進める必要があります。平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、海岸事業の重要性がより一層高まっているところです。

このため、平成23年度整備完了の中央西地区（観音）に続いて、中央西地区（江波、吉島）中央東地区（矢野、船越）において、高潮、津波に対応するため、護岸の嵩上げ、耐震改良、液状化対策を実施します。



期待される整備効果

- 河川・港湾海岸が一体的に高潮対策を実施することで、広島市街地に甚大な浸水被害をもたらした、平成16年高潮が再び発生した場合にも浸水被害の防止・軽減を図ることができます。
- 広島市街地の海岸護岸の嵩上げ、耐震改良、液状化対策を実施することにより、背後の市街地の浸水被害を防止・軽減し、市民の皆様の生命、財産を守ります。

おお た がわ 太田川流域治水整備事業

事業費 210 百万円

河-17

や ぐち がわ (矢口川総合内水緊急対策事業)

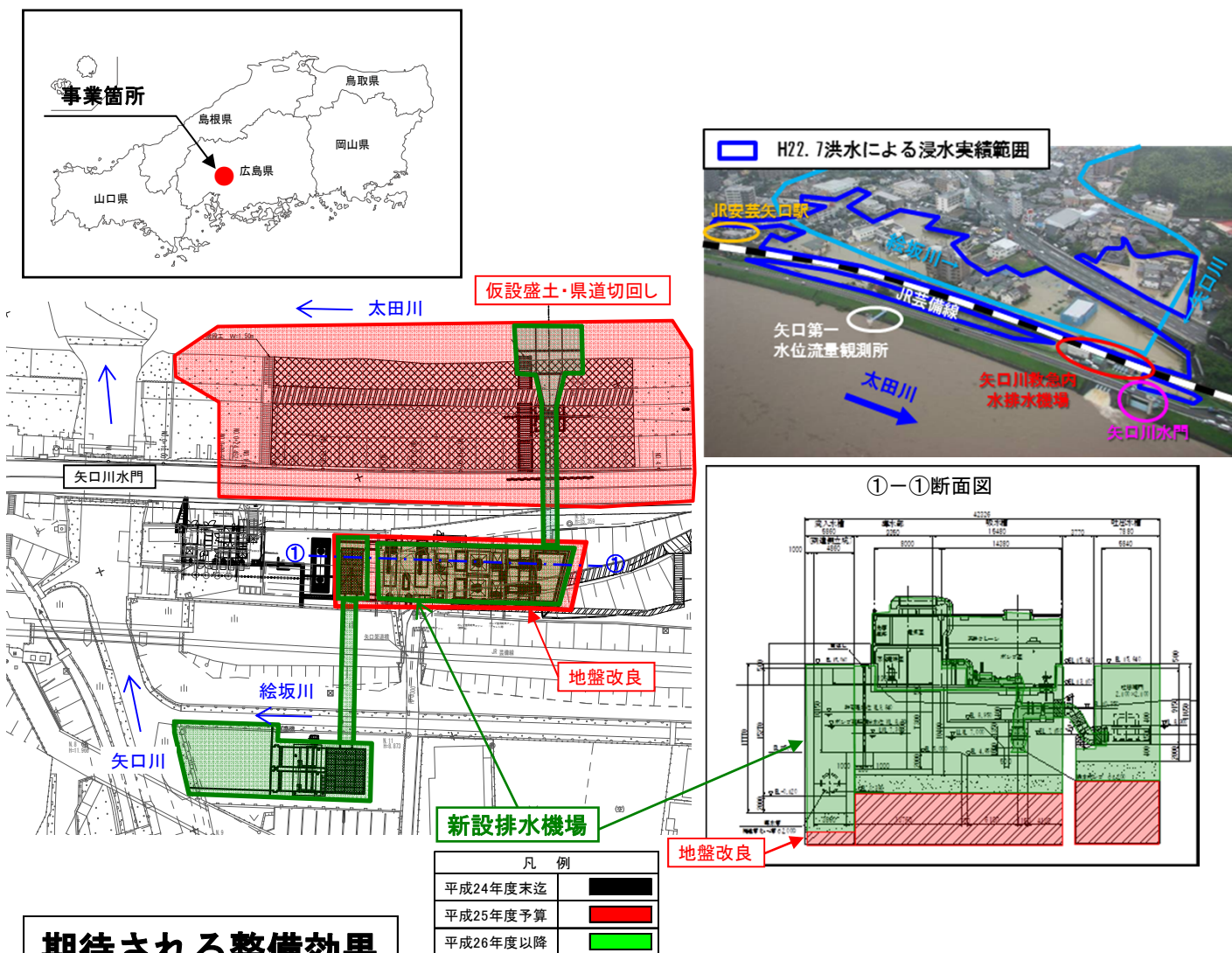
事業推進

【事業概要】

矢口川は流域面積5.2km²の一級河川ですが、その流域は昭和40年代以降にほとんどが宅地化されたこともあり、太田川合流部において、平成17年、22年と立て続けに内水による甚大な浸水被害が発生しています。

このため、平成24年7月に、国・県・市・地域が協働で内水対策を行う「矢口川総合内水対策計画」を策定し、国は排水機場の増設(4m³/s→12m³/s)を実施することとなっています。

平成24年度までは排水機場の調査・設計を行ってきたところですが、平成25年度からは「総合内水緊急対策事業」として新規事業着手し、平成29年度の排水機場増設の完成に向けて、用地補償、仮設盛土による県道の切り回し、地盤改良等を実施します。



期待される整備効果

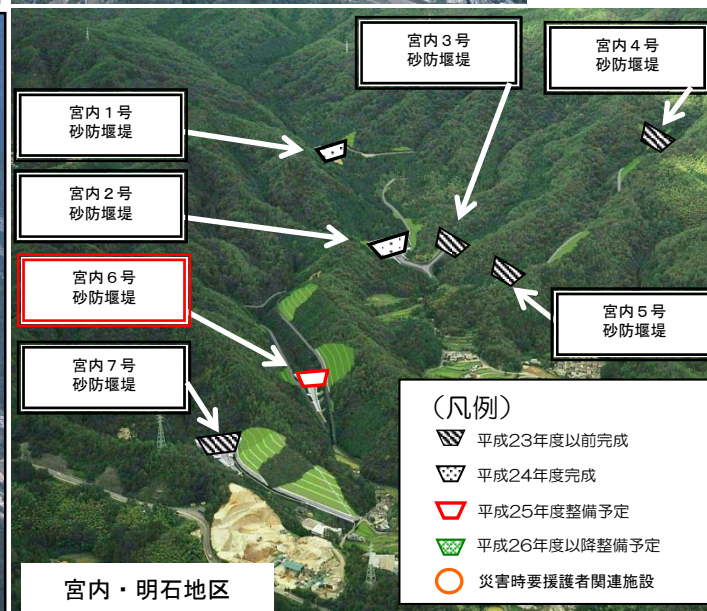
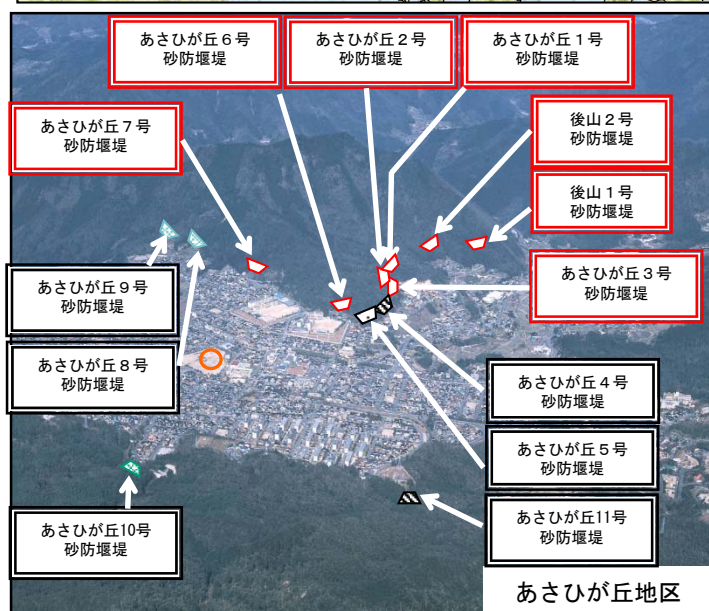
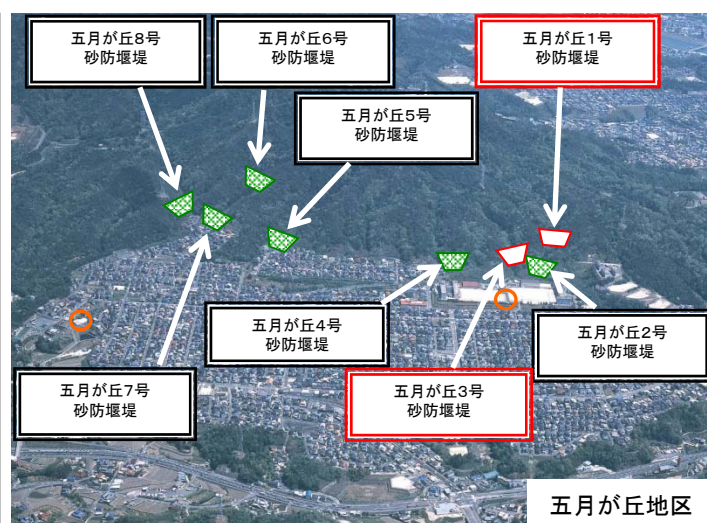
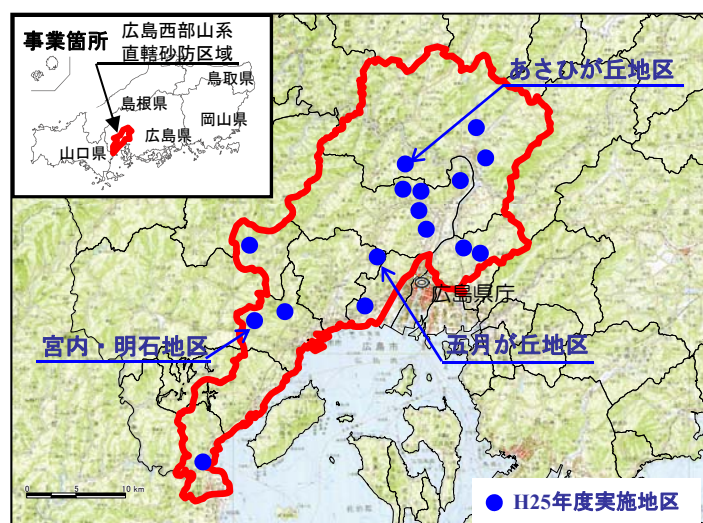
矢口川における内水対策の計画規模である年超過確率1/10（平成17年9月型洪水）規模の洪水が発生した場合においても、床上浸水被害の防止が図られます。

事業推進

【事業概要】

広島西部山系では、平成11年6月29日に発生した大規模な土砂災害を契機として、平成13年度から直轄砂防事業に着手しており、土砂災害から人命や資産及び主要交通網（山陽自動車道、山陽新幹線等）を保全することを目的とした事業を展開しています。

平成25年度は引き続き、あさひが丘地区、五月が丘地区、宮内・明石地区などで砂防施設の整備を実施します。



(凡例)

- 平成23年度以前完成
- 平成24年度完成
- 平成25年度整備予定
- 平成26年度以降整備予定
- 災害時要援護者関連施設

期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家や災害時要援護者関連施設等が位置している地区において、集中的に土石流対策を推進し、安全で誰もが安心して暮らせる地域づくりを図ります。

しょうばら
広島県庄原地区砂防激甚災害対策特別緊急事業
(広島県)

事業費 457 百万円

河-19

完成予定

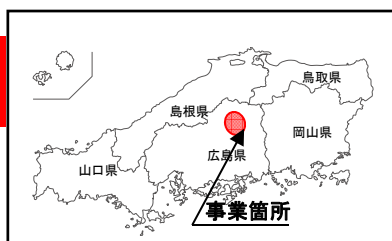
【事業概要】

平成22年7月の梅雨前線豪雨により、^{ひろしま}広島県^{しょうばら}庄原市において同時多発的な土砂災害が発生し、1名の方が犠牲となったのをはじめ、家屋の全壊や半壊、床上・床下浸水など甚大な被害を及ぼしました。

このため、平成22年度の災害関連緊急砂防事業に引き続き、平成23年度から砂防堰堤等を緊急に整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業に着手しており、平成25年度の完成を目指します。

H23年度採択
広島県庄原地区

対象市町
庄原市(1市)



平成22年7月豪雨災害による被災状況



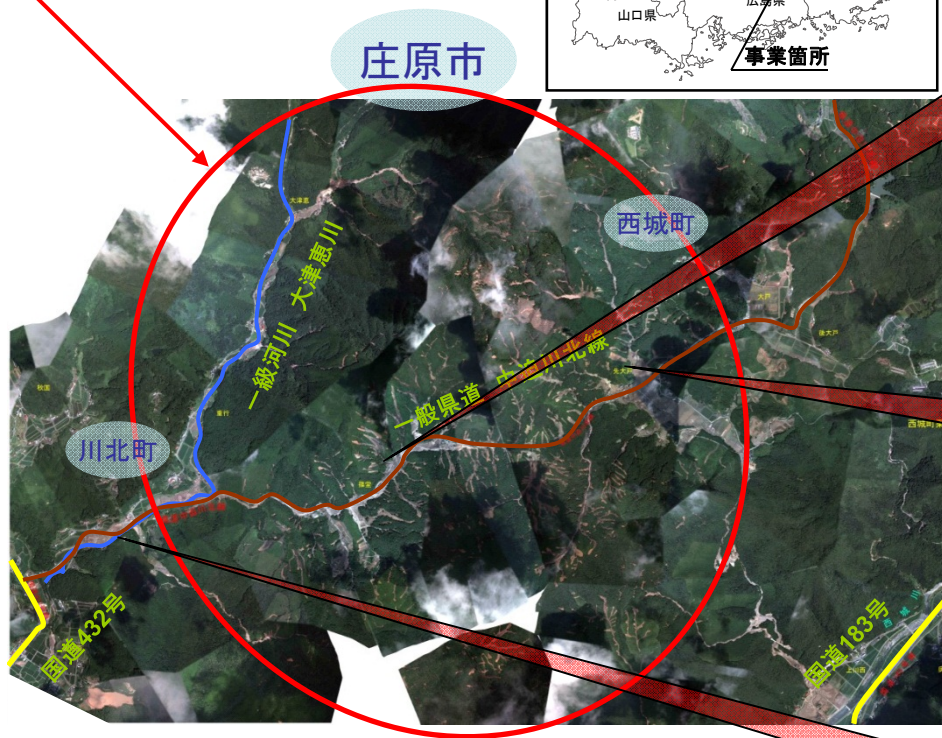
篠堂川(広島県庄原市川北町)



先大戸川(広島県庄原市西城町)



大津恵川左支川(広島県庄原市川北町)



期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、一定期間内(概ね3年)に集中投資を行い、砂防堰堤等を緊急的に整備することで、被災した地区の再度災害防止を図ります。

しょうばら
広島県庄原生活貯水池整備事業
(広島県)

河-20

事業費1,000百万円

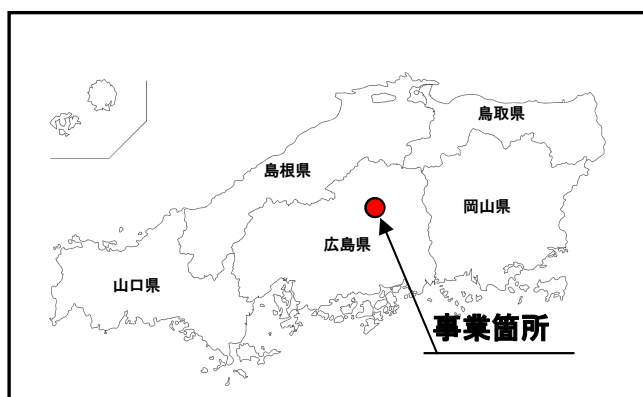
事業推進

【事業概要】

一級河川江の川水系西城川は、過去から度々、洪水被害が発生し、平成22年7月の局地的な豪雨では、庄原生活貯水池周辺で大きな被害が発生しました。

また庄原市では、水道の未普及地域の解消や老朽化した明賀池の水源振替として、早期の整備が求められています。

平成25年度は、本体工事に着手し、庄原生活貯水池整備事業の進捗を図る予定です。



期待される整備効果

ダム本体（H25年2月撮影）

- ・ 洪水の調節
庄原生活貯水池整備事業の完成により、西城川及び大戸川沿川の洪水被害の軽減を図ります。
- ・ ダム下流の既得用水の安定化及び河川環境の保全のための流量の確保
- ・ 水道用水の確保
庄原市に最大4,150m³/日の水道用水を新たに供給します。

山口県厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業

河-23

(山口県)

事業費 2,000 百万円

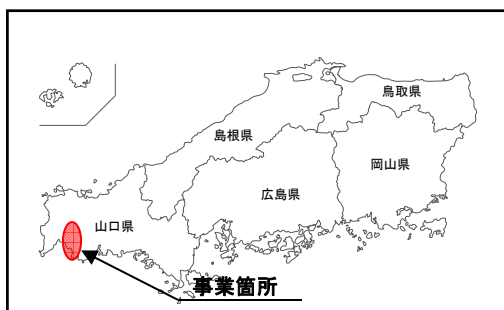
事業推進

【事業概要】

厚狭川流域では、平成22年7月10日から15日にかけての梅雨前線に伴う大雨により、東厚保観測所（美祢市）では、総雨量588mmを記録し、7月の平年の月降水量の1.5倍を超える大雨となりました。

これにより、山陽小野田市を流れる二級河川厚狭川及び支川桜川が氾濫し、700戸を超える家屋の浸水被害が発生しました。

平成25年度は、河川激甚災害対策特別緊急事業により、河道掘削及び堤防整備等を実施します。



期待される整備効果

平成22年7月15日の梅雨前線に伴う大雨と同規模の洪水に対して、浸水被害の軽減が図られます。

河川管理施設の戦略的な維持管理

(中国地方整備局管内直轄13水系)

河-24

事業費 7, 186 百万円

※直轄13水系全体

【事業概要】

主要な河川管理施設ごとの長寿命化計画の作成を推進し、ライフサイクルコストの縮減に努めつつ、既存施設の機能が持続的に発揮できるよう補修、更新を実施し、戦略的な維持管理を行います。

河川管理施設の更新・補修

劣化が進行する堤防・護岸、水門・樋門等の機械設備といった施設について、必要とされる機能を持続的に発揮できるよう更新・補修を行います。

＜劣化により機能が低下している河川管理施設の例＞

堤防・護岸の補修

洪水等の影響により劣化した堤防・護岸において、治水機能を回復するため補修を行う。



劣化による損傷で亀裂の入った護岸

水門等コンクリート構造物の補修

老朽化により剥離、亀裂等の進むコンクリート構造物において補修を行い、機能の維持を図る。



コンクリートが剥離した水門の門柱

樋門ゲート等の更新・補修

腐食等により劣化したゲート等について、必要な機能を維持するための設備更新、補修等を行う。



腐食状況

劣化により腐食の進行したゲート

情報通信設備等の更新

出水時等の緊急時に的確な管理が実施できるよう老朽化した通信設備等の更新を行う。



老朽化した通信アンテナ

長寿命化計画作成の推進

主要な河川管理施設の長寿命化計画の作成を推進し、ライフサイクルコストの縮減に努めます。

期待される整備効果

劣化が進行する河川管理施設について、補修・更新により必要な機能が持続的に発揮されます。

一般国道9号 鳥取西道路

事業費3,920百万円

道-1

部分完成

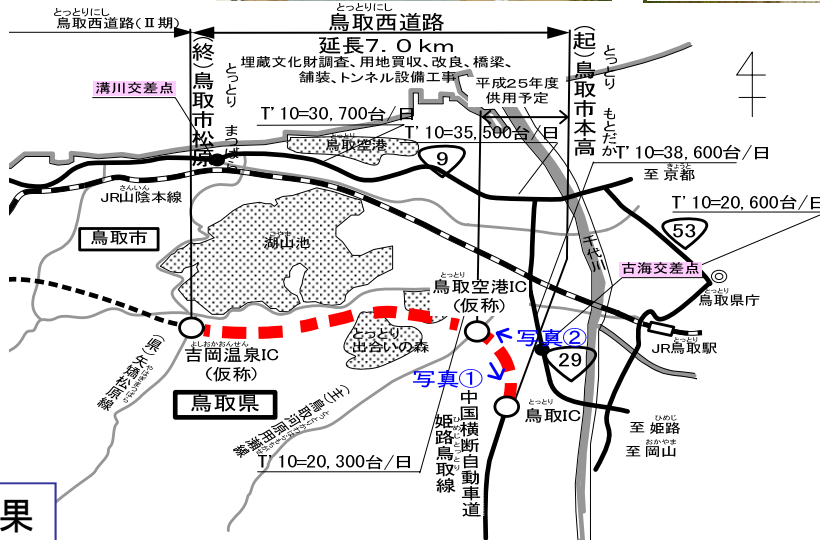
一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至る延長7.0kmの道路です。

平成25年度は、鳥取IC～鳥取空港IC(仮称)間の平成25年度の部分供用(暫定)及び鳥取空港IC(仮称)～吉岡温泉IC(仮称)間の早期供用に向け、埋蔵文化財調査及び用地買収、改良、橋梁、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



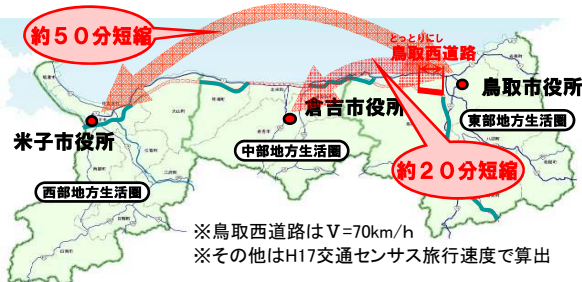
進捗状況写真



期待される整備効果

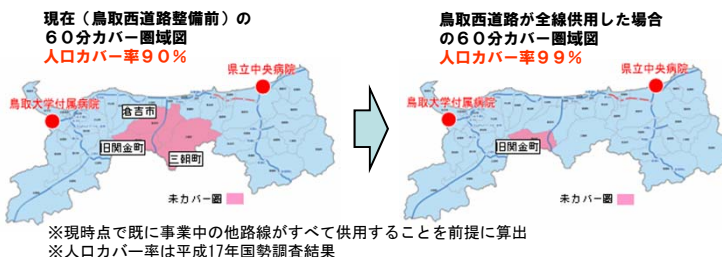
●所要時間の短縮

・鳥取西道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



●第三次医療施設までのアクセス向上

・鳥取県の三次医療施設は、県立中央病院(鳥取市)と鳥取大学付属病院(米子市)の2カ所であり、鳥取西道路の整備により、県中部の60分カバー圏が大幅に拡大し、救命率の向上が期待される。



一般国道9号 中山・名和道路 一般国道9号 名和・淀江道路

事業費1, 550百万円

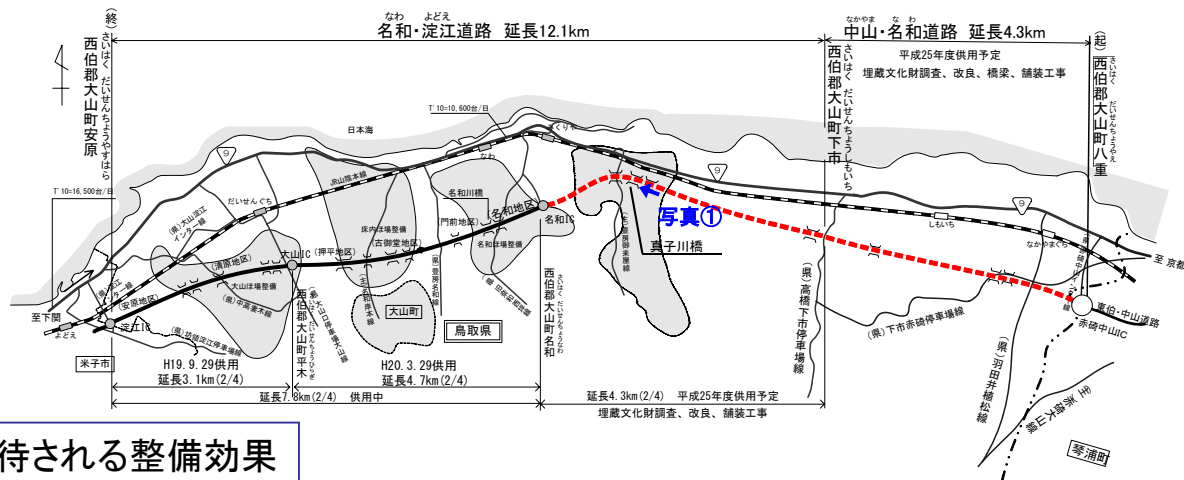
道-2

事業費1, 250百万円

完成予定

一般国道9号中山・名和道路、名和・淀江道路は、西伯郡大山町周辺における交通安全の確保及び災害等の非常時における代替路の確保を目的とした、西伯郡大山町八重から同町安原に至る延長4. 3kmの道路及び12. 1kmの道路です。平成19年度までに延長7. 8kmが供用しています。

平成25年度は、平成25年度の全線供用（暫定）に向け、埋蔵文化財調査及び改良、橋梁、舗装工事を推進します。



期待される整備効果

● 走行時間短縮による物流効率化の支援

鳥取県中部及び沿線の工業団地から境港や米子空港までの所要時間が短縮され、物流の効率化が期待されます。



● 代替路線の確保による道路網の信頼性向上

山陰道が迂回路として機能することにより、東西交通の確保及び復旧・救援作業を迅速に行う事が可能になり、現道の早期復旧により生活面・経済面の影響が軽減されます。



一般国道9号 駒馳山バイパス

事業費5,430百万円

道-3

完成予定

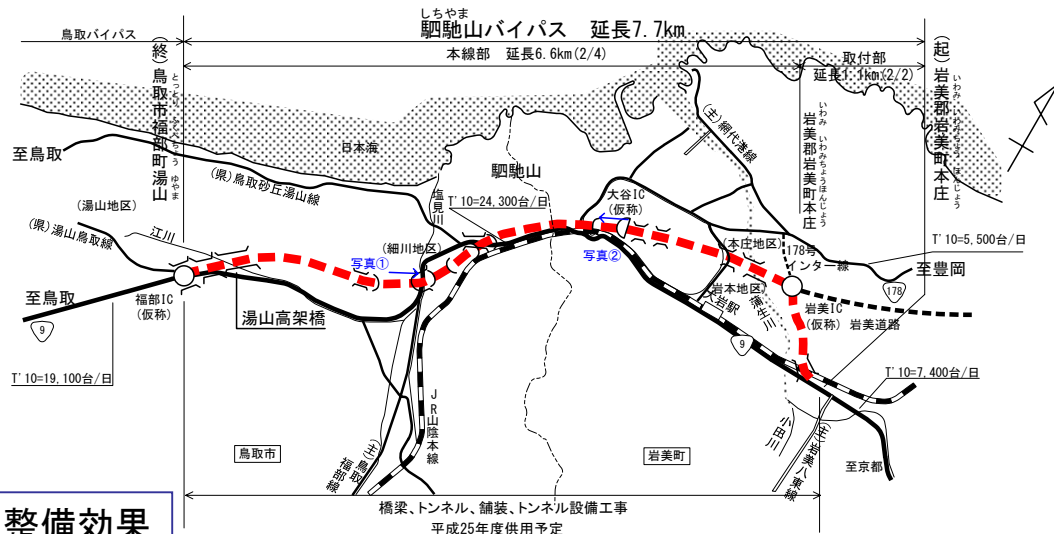
一般国道9号駒馳山バイパスは、岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、延長7.7kmの道路です。

平成25年度は、平成25年度的全線供用(暫定)に向け、橋梁、トンネル、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



進捗状況写真



期待される整備効果

●現道の隘路区間の解消

一般国道9号の駒馳山峠は、急カーブや急勾配が連続しており、特に冬期には交通のネックになっている。駒馳山バイパスの整備により、快適で安全な走行が期待される。



●第三次医療施設までのアクセス向上

駒馳山バイパスの整備により、第三次医療施設(県立中央病院)への搬送時間短縮により、救命率の向上が期待される。また、駒馳山峠部の線形不良区間の解消により、搬送患者の負担軽減となる。

所要時間の短縮

[現状] 国道9号、178号経由

43分

[供用後] 鳥取豊岡宮津自動車道経由

7分短縮

36分

※鳥取豊岡宮津自動車道等が全線整備された場合

鳥取豊岡宮津自動車道はV=70km/h、その他は規制速度より算出

鳥取53号交差点改良等 (市瀬歩道整備)

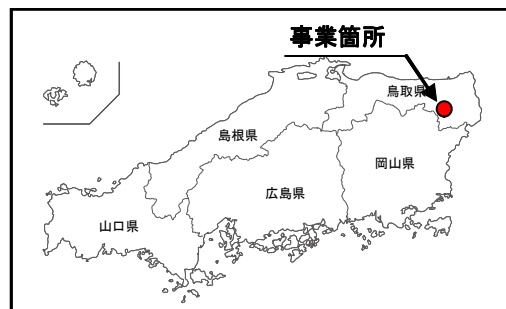
道-4

事業費36百万円

事業推進

八頭郡智頭町に位置する当該箇所は、通学路に指定されているものの歩道がなく、また国道下り線に設置されたバス停付近も歩道がないことから、歩行者の通行に危険を伴う状況のため、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、安全・安心な歩行空間の確保のため、歩道整備を行うものです。

平成25年度は、平成26年度の完成に向け、歩道整備工事を推進します。



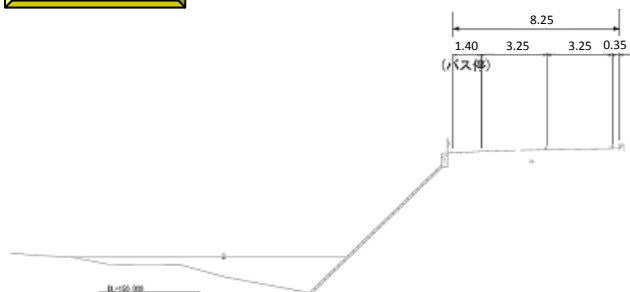
位置図



現況写真

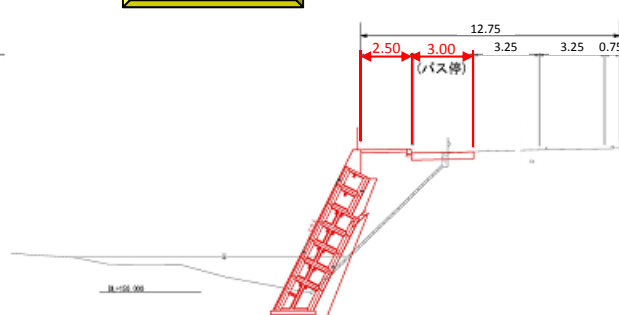


現況断面



計画断面

(単位:m)



期待される整備効果

- 歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

一般国道9号 浜田・三隅道路

事業費3,200百万円

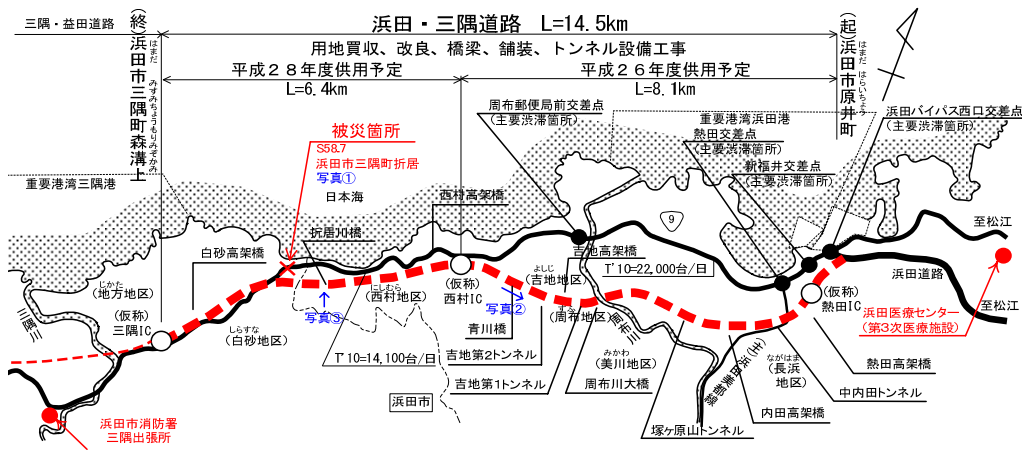
道-6

事業推進

一般国道9号浜田・三隅道路は、浜田市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした浜田市原井町から同市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの道路です。

平成25年度は、熱田IC(仮称)～西村IC(仮称)間の平成26年度の部分供用(暫定)及び平成28年度の全線供用(暫定)に向け、用地買収及び改良、橋梁、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



豪雨による災害



進捗状況写真



期待される整備効果

●代替路の確保

並行する一般国道9号では、交通事故や積雪による全面通行止めが年間平均で2回発生(約4時間/年)しています。浜田・三隅道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性の向上や東西幹線の強化が期待されます。

通常時(国道9号経由)

距離:40km
所要時間:約70分

迂回時

距離:100km
所要時間:約120分

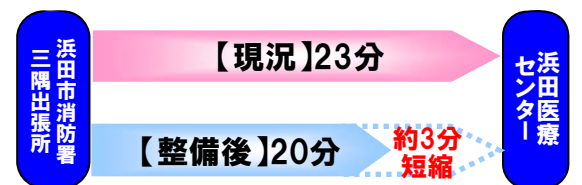
通常時と比較して、
約1.7倍の時間が必要

H22道路交通センサス混雑時旅行速度で算出



●医療活動の支援

浜田・三隅道路の整備により、第三次医療機関である浜田医療センターへのアクセス時間の短縮や安静な搬送が可能となります。



注) 現況: H22道路交通センサスの規制速度で算出
整備後: 浜田・三隅道路はV=70km/h、その他はH22道路交通センサスの規制速度より算出

島根9号交差点改良等 (しょうばら 莊原交差点改良)

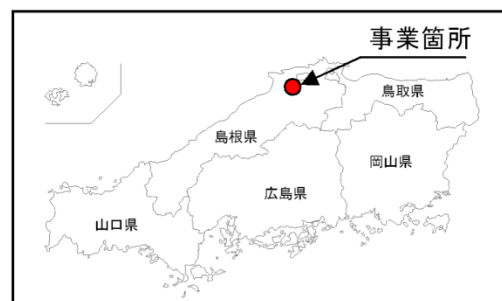
事業費66百万円

道-7

完成予定

いすも ひかわちょう
出雲市斐川町に位置する当該箇所は、交通量が多く右折車線がないことから、右折待ち車両による直進阻害が発生している状況のため、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、事故防止のため交差点改良を行うものです。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、右折車線の設置工事を推進します。



位置図

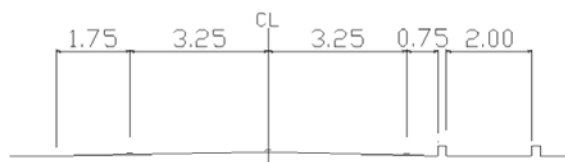


現況写真



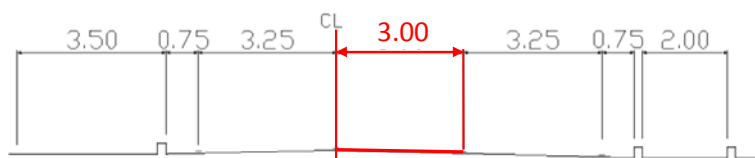
写真①国道9号島根県出雲市斐川町地内
大田市方面から松江市方面を望む

現況断面



計画断面

(単位:m)



右折車線新設

期待される整備効果

- 右折車線の設置により、事故防止を図ります。

一般国道431号 東林木バイパス(島根県)

道-8

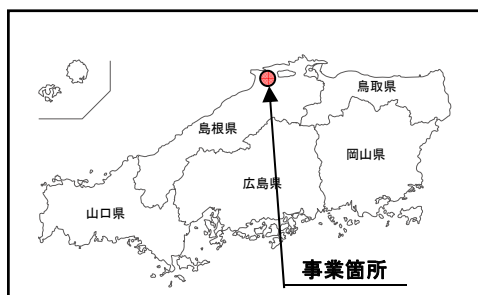
事業費300百万円

完成予定

一般国道431号東林木バイパスは、地域高規格道路「境港出雲道路」の一部として山陰道とともに宍道湖・中海圏域の8の字ルートを構成する道路で、現道の線形不良解消や慢性的に発生する交通混雑の緩和、「出雲大社」をはじめとする観光地へのアクセス向上を目的とした、延長約4.2kmの道路で、市道東林木平野線～現道間1.2kmが供用(暫定)しています。

平成25年度は、平成25年度の全線供用(暫定)に向け、改良、舗装工事等を推進します。

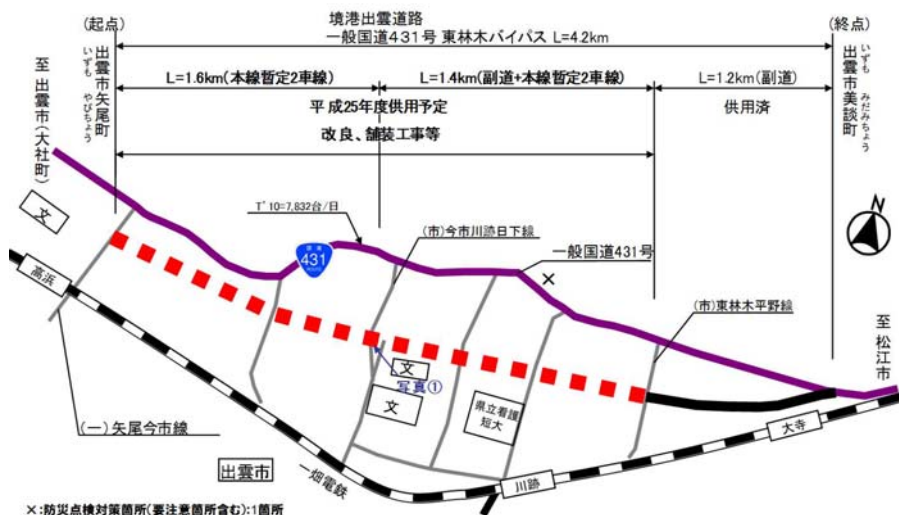
位置図



進捗状況写真



写真① (仮称)東林木高架橋



期待される整備効果

市内中心部及び観光地へのアクセス道路として機能するとともに、市内の交通渋滞緩和が期待されます。



東林木バイパス周辺の主な観光地
(H23観光動態調査(島根県観光振興課))



写真② (一)斐川出雲大社線の渋滞状況
(出雲市荻村町)

一般国道2号 玉島・笠岡道路

事業費2,100百万円

道-9

事業推進

一般国道2号玉島・笠岡道路は、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展を目的とした、倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方に至る延長4.5kmの道路です。

平成25年度は、平成26年度の全線供用(暫定)に向け、用地買収及び改良、舗装工事を推進します。

位置図



現道状況



進捗状況写真



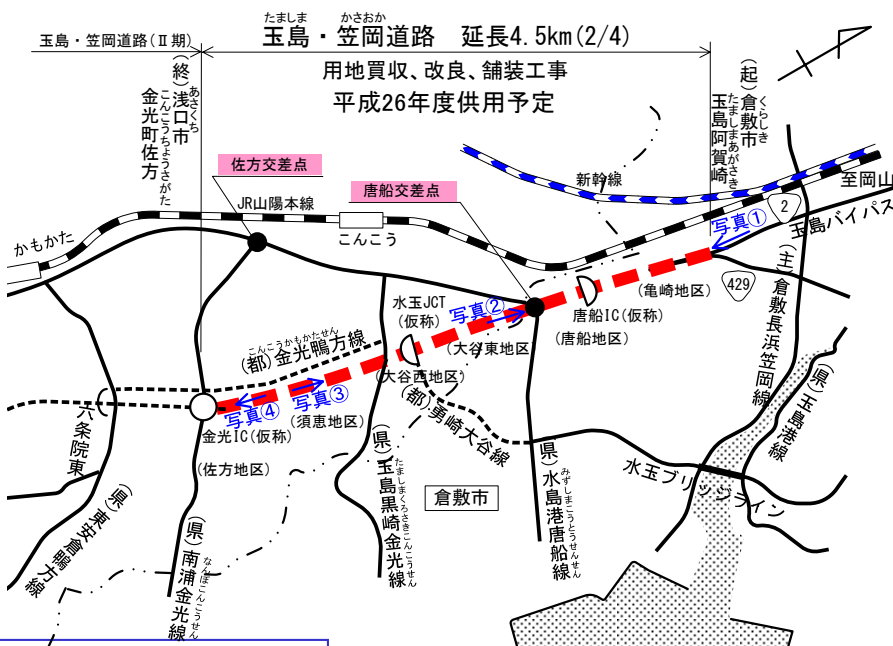
写真①浅口市金光町大谷東地区



写真②浅口市金光町須恵地区



写真③浅口市金光町佐方地区



期待される整備効果

●所要時間の短縮

玉島・笠岡道路を含む倉敷福山道路の整備により、現道からバイパスへ交通が転換し、国道2号の交通渋滞が緩和され所要時間が短縮します。

- ・国際拠点港湾水島港～笠岡港町地区工業団地間の所要時間が短縮。
(現況80分→40分:約40分短縮)

●第三次医療施設までのアクセス向上

玉島・笠岡道路の整備により沿線地域から第三次医療施設である川崎医科大学へのアクセスが改善され、地域の医療サービスの向上が期待されます。



※玉島・笠岡道路のみ:約5分短縮、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)のみ:約5分短縮
笠岡バイパスのみ:約15分短縮

※現況所要時間はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度
将来所要時間は玉島・笠岡道路 V=70km/h、笠岡バイパス V=60km/hとして算出

岡山2号交差点改良等 (加須山交差点改良)

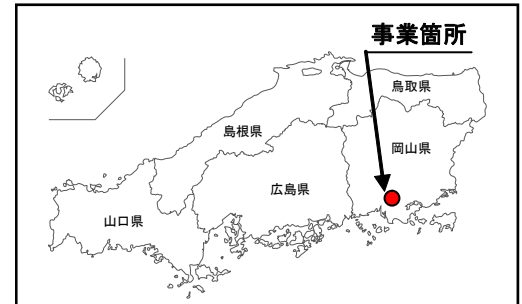
事業費189百万円

道-10

完成予定

倉敷市加須山に位置する当該箇所は、長い直線区間のため直進車の走行速度が高くなり、また交差点を無理に右折する車両もいることから、交通事故が多く発生している箇所であるため、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交通事故の低減を図るため、交差点改良を行うものです。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、交差点改良工事を推進します。



位置図

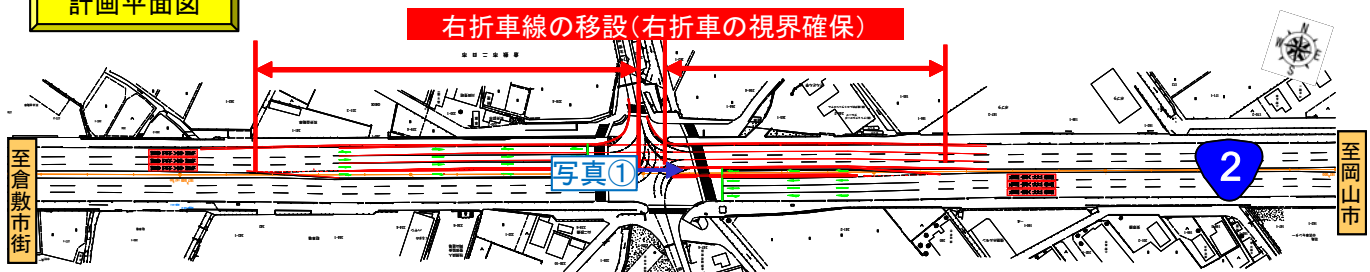


現況写真



写真①国道2号岡山県倉敷市加須山地区内
倉敷市街方面から岡山市方面を望む

計画平面図



期待される整備効果

- 直進車線と右折車線の間にゼブラ帯を設けることにより、右折時における対向車の視認性を向上させ、事故防止を図ります。

岡山2号電線共同溝

こうなんせいきばし

(岡南清輝橋電線共同溝)

道-11

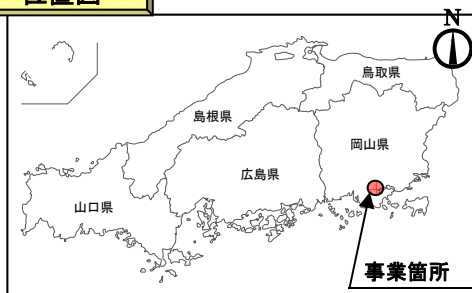
事業費588百万円

完成予定

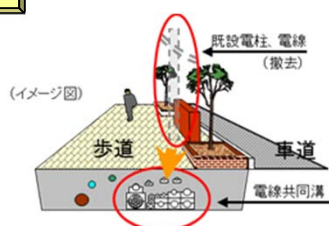
当事業箇所は、^{おかやま}岡山市中心市街地の近隣商業地域に位置し、安全で快適な通行空間の確保、災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに良好な都市景観の形成にむけたまちづくりを支援することを目的として、既設電線類を地中化する電線共同溝事業です。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、本体工事等を推進します。

位置図



断面図



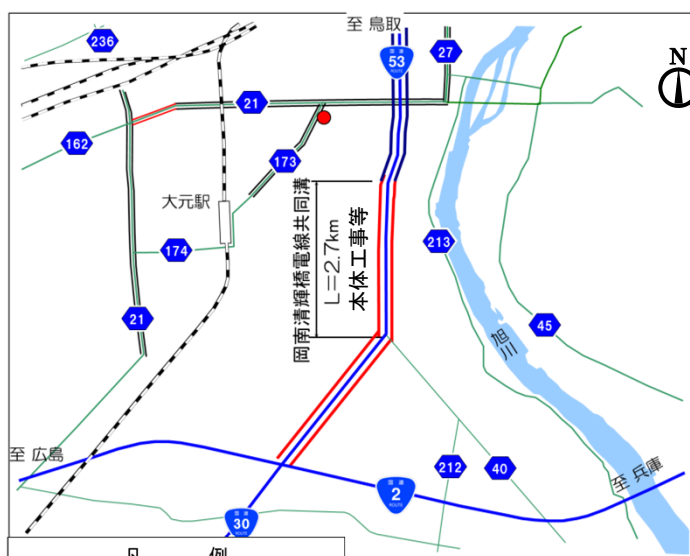
現道状況写真



①【整備前】



②【整備後(イメージ)】



凡 例

無電柱化整備済	—
無電柱化整備中(電線共同溝)	—

期待される整備効果

○安全で快適な通行空間の確保

○良好な景観の形成や観光振興

○道路の防災性の向上

一般国道374号 湯郷勝央道路(延伸) (岡山県)

道-12

事業費430百万円

事業推進

「湯郷勝央道路(延伸)」は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成し、中国縦貫自動車道・山陽自動車道・中国横断自動車道岡山米子線と一体となって、県内循環高速道路網を形成し、美作圏域と岡山圏域の交流促進により、地域の活性化に寄与するとともに、沿線の交通混雑の解消及び交通の安全確保を目的とした、勝央町黒土における延長約1.1kmの道路です。

平成25年度は、平成27年度全線供用(完成)に向け、埋蔵文化財調査及び改良、橋梁工事等を推進します。

位置図

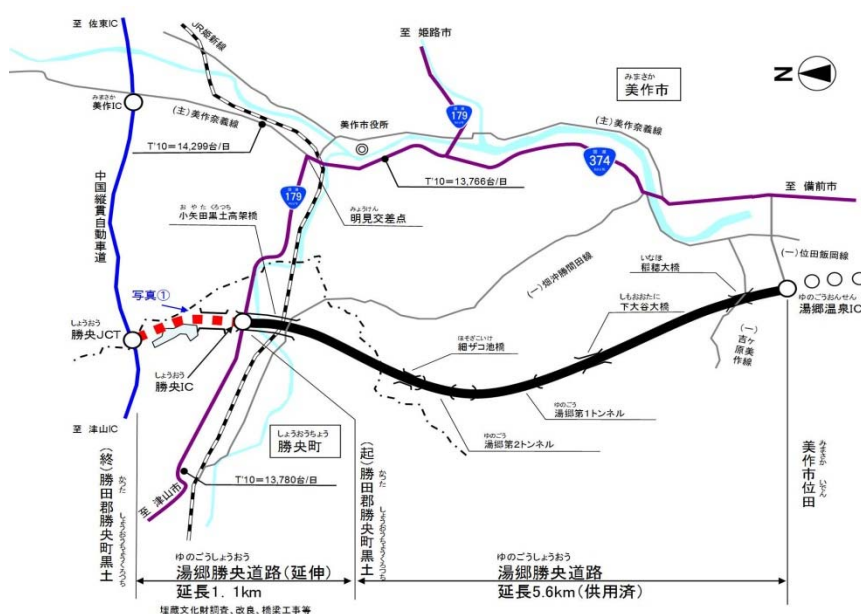


進捗状況写真

H25.4撮影



写真①黒土高架橋 (H25.4撮影)



期待される整備効果

交通混雑の回避

湯郷勝央道路(延伸)の整備により、現道の交通混雑の緩和が期待されます。



みょうけん
明見交差点渋滞状況

広域的な循環型ネットワークの形成



中国横断自動車道尾道松江線

おの michi まつえ

事業費

110百万円(島根県)
13,917百万円(広島県)

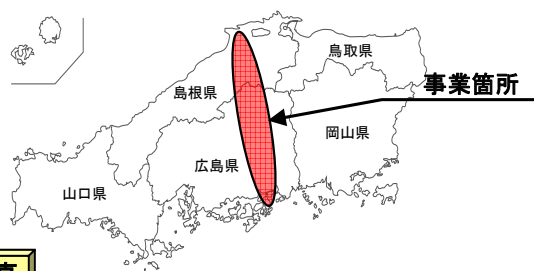
道-13

部分完成

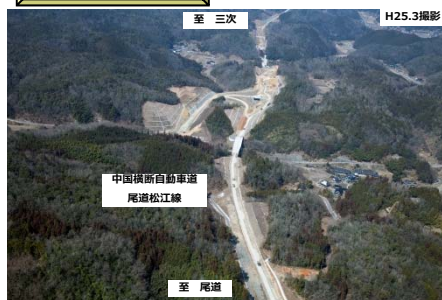
中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、尾道JCT～三刀屋木次IC間(延長110.9km)は、直轄高速方式により整備しており、平成24年度までに延長80.2kmが供用しています。

平成25年度は、吉舎IC(仮称)～三次東JCT・IC間の平成25年度の部分供用(暫定)及び平成26年度の全線供用(暫定)に向け、改良、橋梁、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



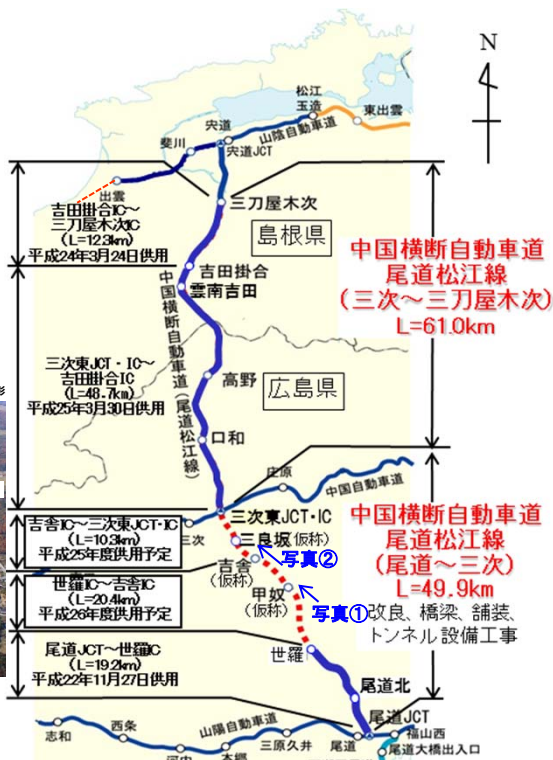
進捗状況写真



写真①甲奴IC(仮称)



写真②三良坂IC(仮称)



期待される整備効果

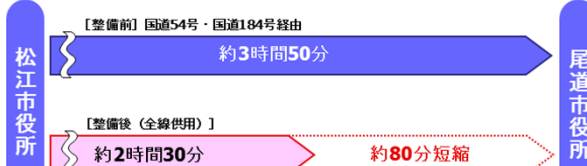
●主要都市間の所要時間短縮及び代替性の確保

尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。

松江市～広島市の所要時間



【参考】松江市～尾道市の所要時間(全線供用後)



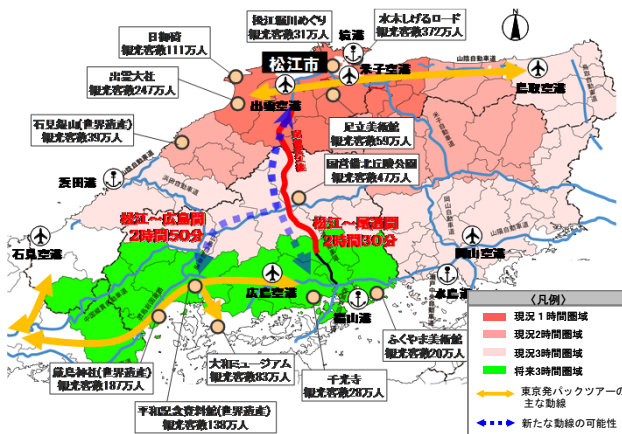
※所要時間は、下記の条件により算出

整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度

現況・整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

●観光の支援(日帰り圏の拡大)

尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※時間圏は、左記と同様に算出

資料：広島県、島根県、境港市観光動態調査結果(H22)

東京発バックツアーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を進行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。

一般国道2号 広島南道路

事業費3,180百万円

道-14

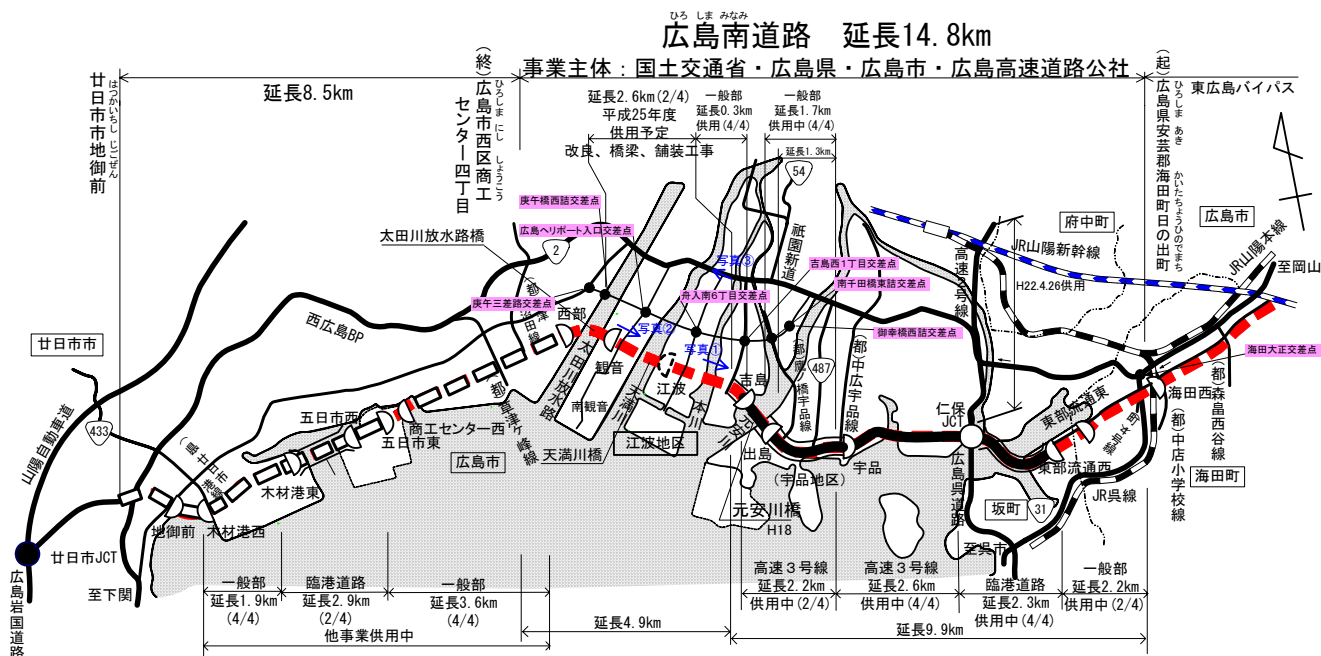
部分完成

一般国道2号広島南道路は、広島都市圏における道路交通の円滑化、都市機能の向上を図ること等を目的とした、安芸郡海田町日の出町から広島市西区商工センター4丁目に至る延長14.8kmの道路です。

平成22年度までに、安芸郡海田町から広島市中区光南までの延長9.9kmが街路及び高架構造により供用しています。

平成25年度は、広島市中区光南～西区観音新町間の平成25年度の部分供用(暫定)に向け、改良、橋梁、舗装工事を推進します。

位置図



期待される整備効果

●所要時間の短縮

一般国道2号広島南道路の整備により、約21分の時間短縮効果が見込まれる。



※整備前の所要時間はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度
※整備後は広島南道路が整備された条件で算定 (広島南道路の設定速度はV=60km/h)

現道状況写真



進捗状況写真



広島54号交差点改良等 (八千代自転車歩行者道整備)

道-15

事業費87百万円

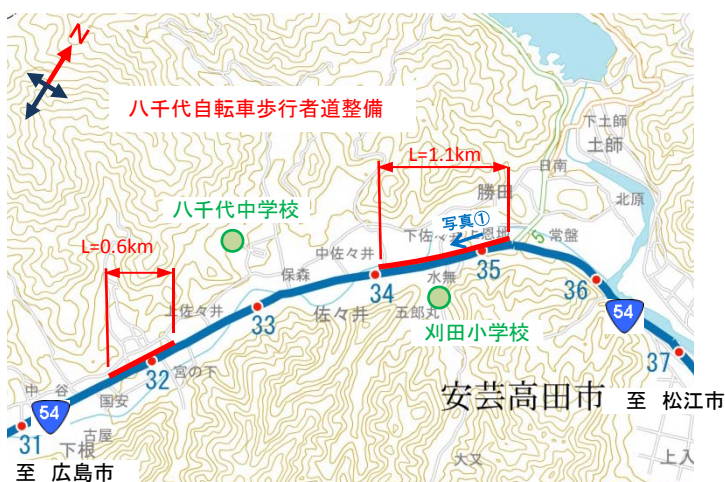
完成予定

安芸高田市八千代町に位置する当該区間は、近傍に刈田小学校・八千代中学校が立地しており、通学路に指定されているものの歩道幅員が狭く、通行に危険が伴う状況です。また、通学路における緊急合同点検において、対策として、自転車歩行者道整備を行うことで合意されている箇所となっています。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、自転車歩行者道整備工事を推進します。



位置図

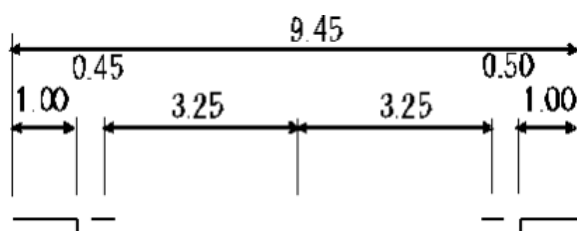


現況写真

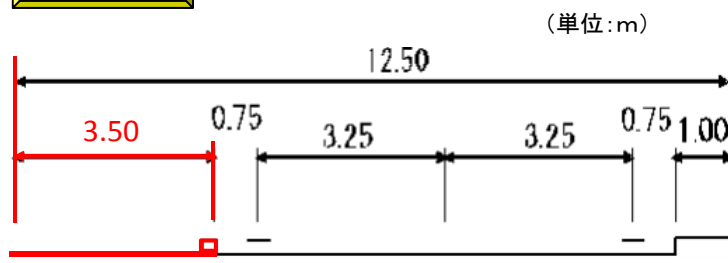


写真①国道54号広島県安芸高田市八千代町地内
松江市方面から広島市方面を望む

現況断面



計画断面



自転車歩行者道新設

期待される整備効果

- 自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

広島2号共同溝

ひろしま
(広島南(幹線)共同溝)

道-16

事業費1,444百万円

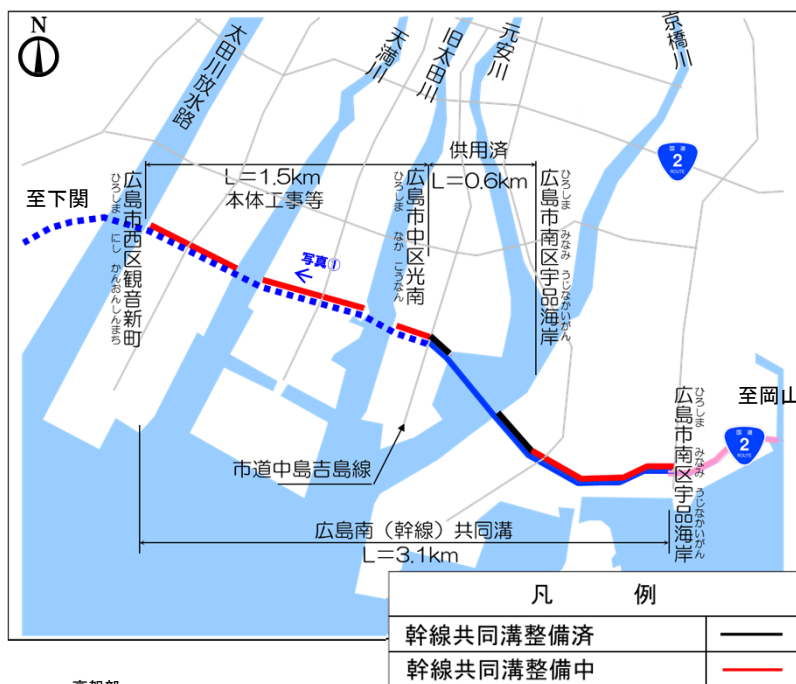
部分完成

当事業箇所は、各種の公益物件を効率的かつ機能的に集約整理し、道路の掘り返しを伴う工事を抑制による道路の保全と円滑な交通の確保、地震等の災害時における都市生活に不可欠なライフラインの安全性、信頼性の向上を図る目的で、一般国道2号広島南道路の整備に併せ一体となって事業を進めている、広島市南区宇品海岸から西区観音新町に至る延長約3.1kmの共同溝事業です。

平成22年度までに、広島市南区宇品海岸から広島市中区光南までの0.6kmを部分完成しました。

平成25年度は、広島市中区光南～西区観音新町間の平成25年度の部分完成に向け、共同溝本体工事等を推進します。

位置図

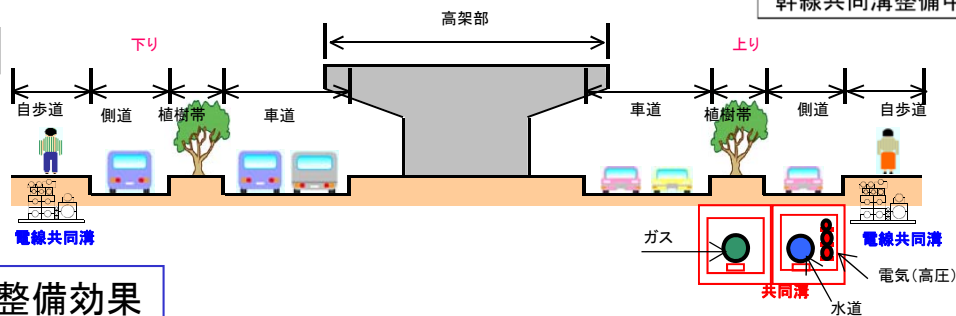


現道状況写真

写真①



断面図



期待される整備効果

○道路の掘り返しを抑制

○安全で快適な通行空間の確保

○道路の防災性の向上

一般国道191号 下関北バイパス

事業費4,100百万円

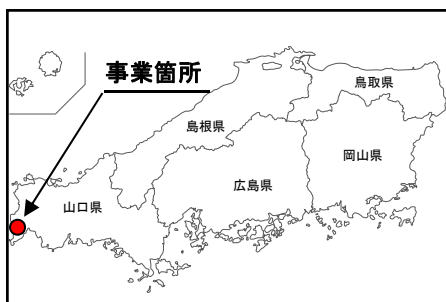
道-17

事業推進

一般国道191号下関北バイパスは、一般国道191号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、下関市筋川町から下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmの道路です。平成17年度までに、延長2.1kmが供用しています。

平成25年度は、平成26年度の全線供用(完成)に向け、用地買収及び改良、橋梁工事を推進します。

位置図



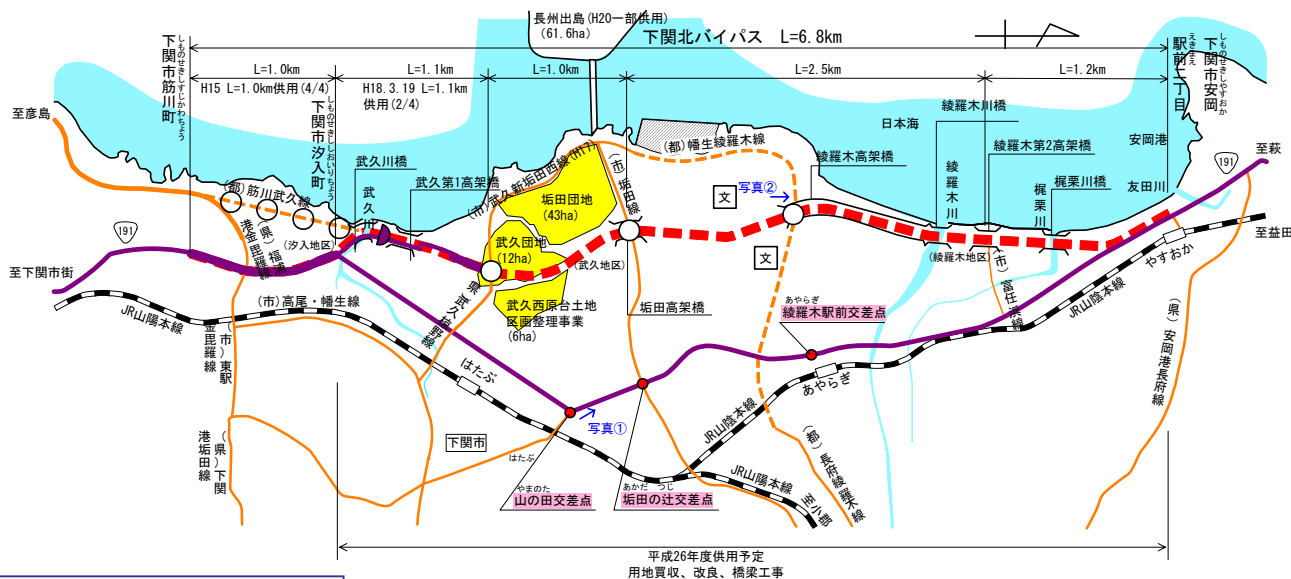
現道状況



進捗状況写真



H25.4撮影



期待される整備効果

●交通渋滞の緩和

下関北バイパスの整備により、国道191号における交通渋滞の緩和、走行速度の向上が期待されます。

●所要時間の短縮

下関北バイパスの整備により、主要な観光地へのアクセスが向上され、下関料金所から吉母入口交差点までの所要時間が、約12分短縮されます。

(下関料金所)
(吉母入口交差点)

【現況】L=13.9km

約33分

【整備後】L=14.8km

約21分

約12分短縮

吉母入口交差点

現況：H23年8月休日11時台平均旅行速度(民間プローブデータ)

整備後：下関北バイパスは80km/h、その他の道路はH23年8月休日11時台平均旅行速度(民間プローブデータ)

山口2号交差点改良等 (瓜生野交差点改良)

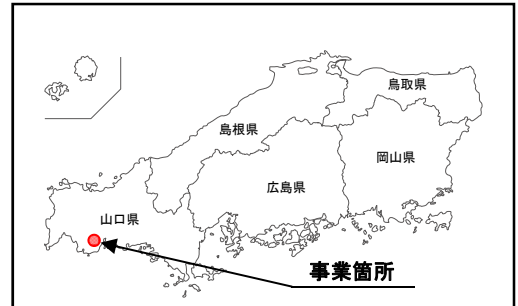
道-18

事業費267百万円

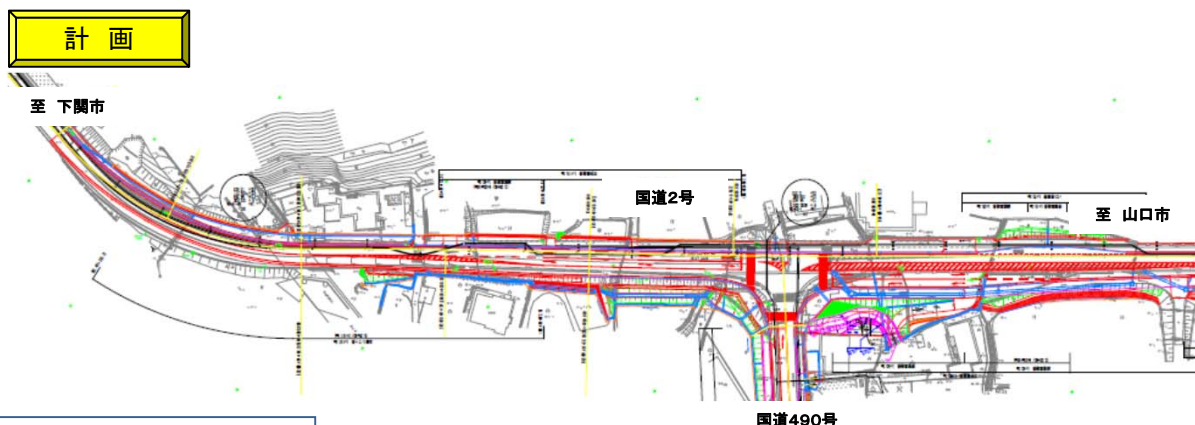
完成予定

宇部市瓜生野に位置する当該箇所は、下り車線の左折車両が多いため、車線に滞留した車両への追突事故が多く発生しています。また、通学路における緊急合同点検において、対策として自転車歩行者道整備を行うことで合意されている箇所であることから、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点改良及び自転車歩行者道整備を行うものです。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、交差点改良と自転車歩行者道整備工事を推進します。



写真①国道2号山口県宇部市瓜生野地内
下関市方面から山口市方面を望む



期待される整備効果

- ・ 自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。
- ・ 左折専用車線の設置および右折車線の延伸を行うことにより、事故防止を図ります。

山口9号電線共同溝 (吉敷電線共同溝)

道-19

事業費133百万円

完成予定

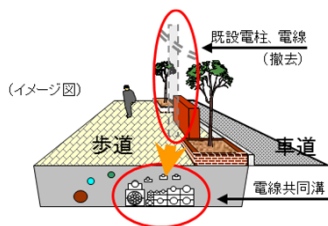
当事業箇所は、近隣商業地域に位置し、安全で快適な通行空間の確保、災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに良好な都市景観の形成にむけたまちづくりを支援することを目的として、既設電線類を地中化する電線共同溝事業です。

平成25年度は、平成25年度の完成に向け、本体工事等を推進します。

位置図



断面図



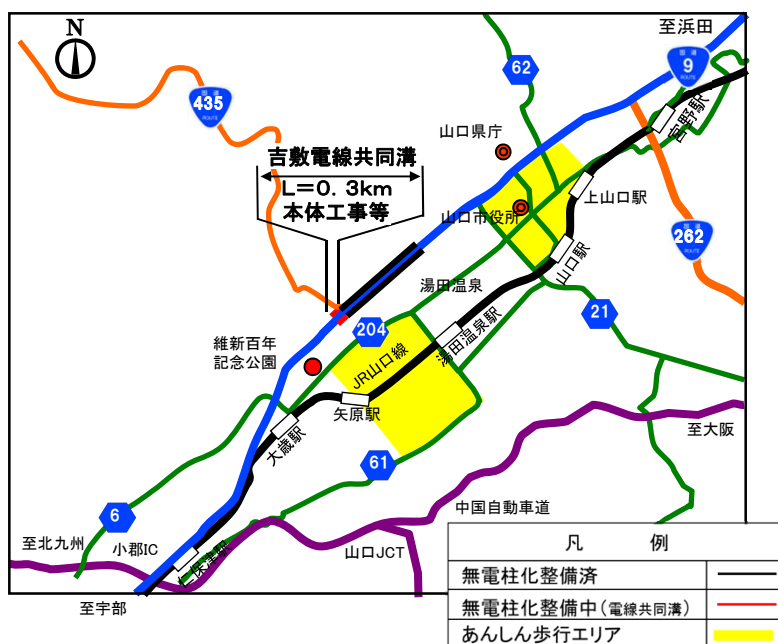
現道状況写真



①【整備前】



②【整備後(イメージ)】



期待される整備効果

- 安全で快適な通行空間の確保
- 道路の防災性の向上

- 良好な景観の形成や観光振興

一般県道 妻崎開作小野田線(山口県)

道-20

事業費1,060百万円

事業推進

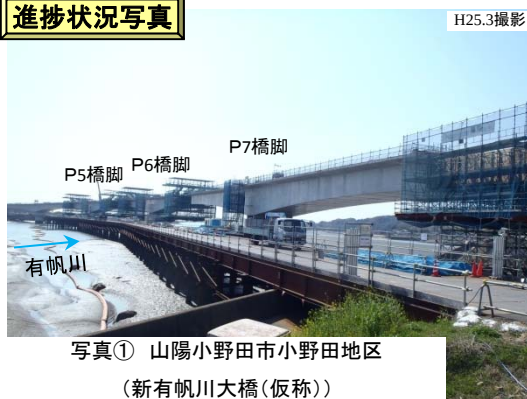
一般県道妻崎開作小野田線(山陽小野田市大字小野田から同市新生三丁目間)は、地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」の一部を形成する道路であり、小野田港臨港地区から山陽自動車道小野田ICへのアクセス強化や市街地の慢性的な渋滞緩和を目的とした、延長約1.8kmの道路です。

平成20年度に延長0.6kmを供用しており、平成25年度は、平成26年度の全線供用(暫定)に向け、橋梁及び交差点改良工事等を推進します。

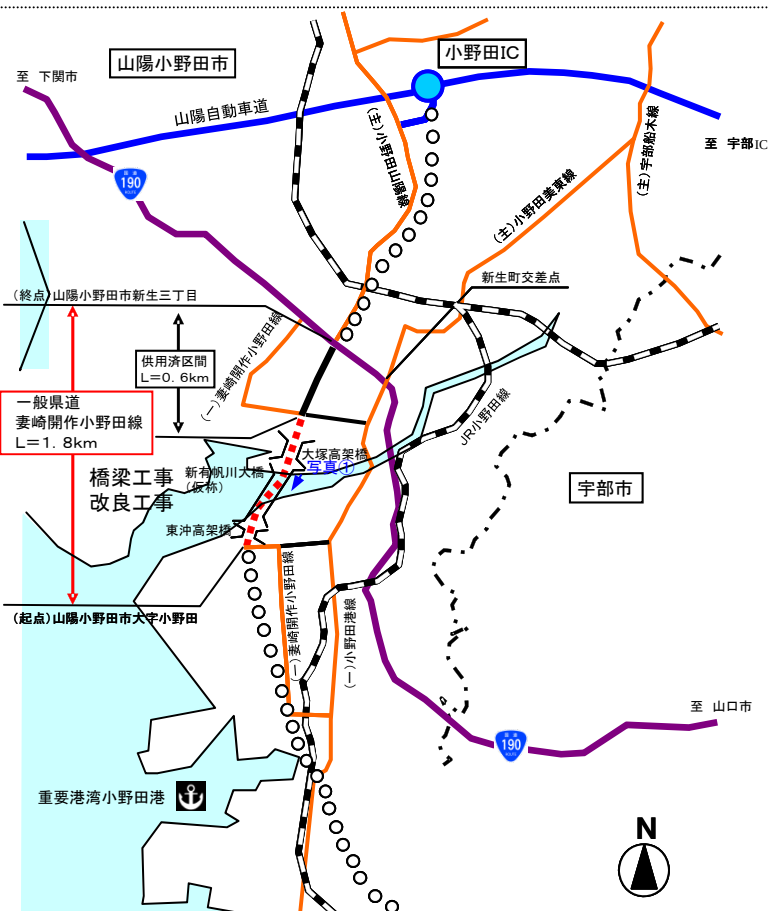
位置図



進捗状況写真



写真① 山陽小野田市小野田地区
(新有帆川大橋(仮称))



期待される整備効果

交通渋滞の緩和

一般県道 妻崎開作小野田線の整備により本箇所に平行する一般県道小野田港線の主要渋滞箇所(新生交差点)を回避することで交通混雑の緩和が期待されます。



写真② 新生町交差点渋滞状況



小野田ICへのアクセス強化

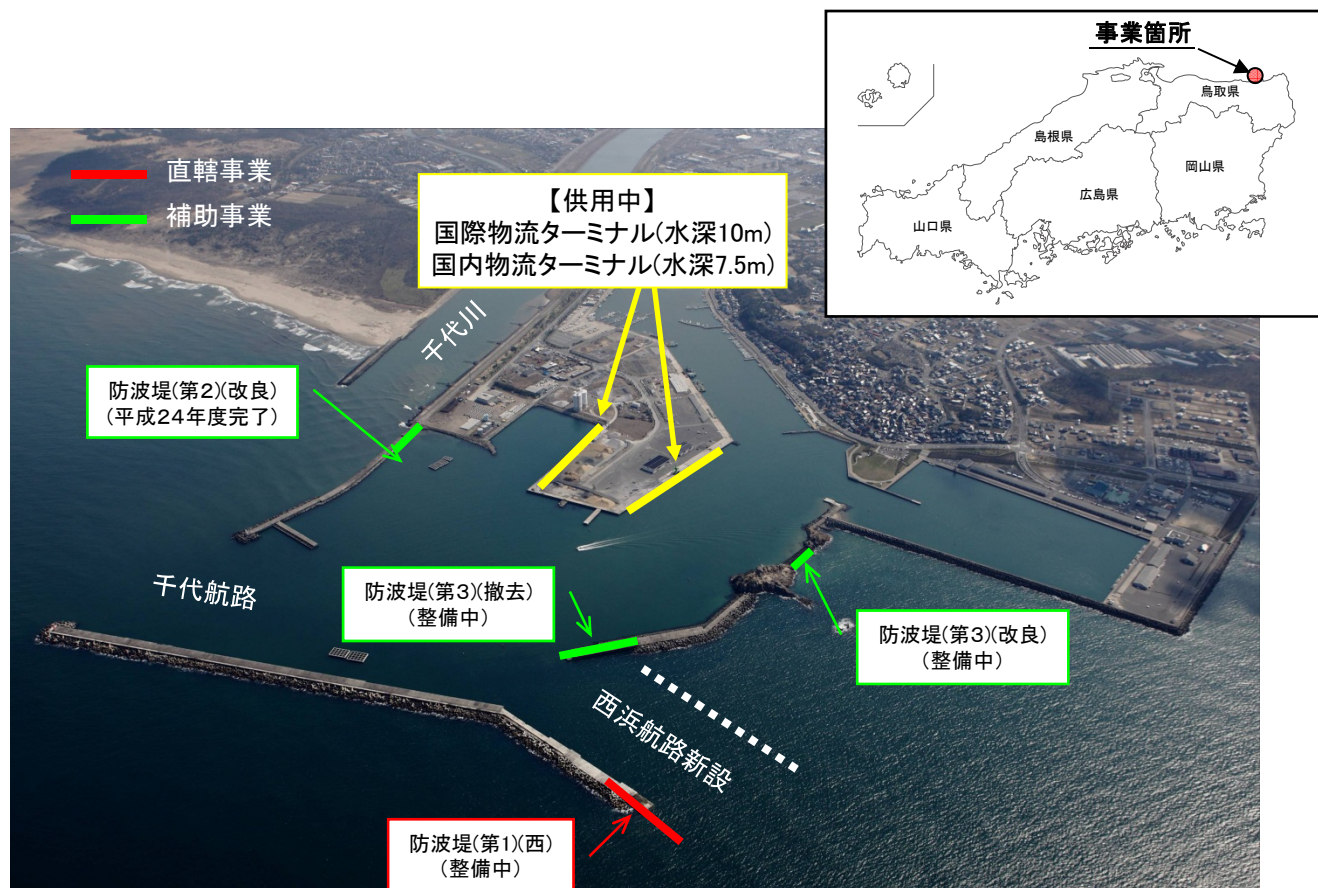


とっとり
鳥取港防波堤整備事業(国、鳥取県) 国 :事業費478百万円 港-1
鳥取県:事業費213百万円

事業推進

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路は、冬期風浪や台風等により港口付近で波のじょう乱が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた岸壁荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

事業推進

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えています。

近年、山陰地方初となるリサイクルポートの指定(平成23年1月)、日本海の対岸諸国(韓国、ロシア等)の経済成長とトライアル輸送の成功等を通じ、今後の環日本海交流の発展を期待した電子部品、電気自動車工場等の新たな企業進出が相次いでおり、多様な貨物の増加が見込まれています。加えて、日本海側拠点港の選定(平成23年11月)を契機とした、更なる利便性向上のための取組みの促進も期待されています。

しかしながら、貨物量の増加や船舶大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

そのため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備するとともに、既存ふ頭の再編を行うことで、境港全体の機能強化を図ります。



期待される整備効果

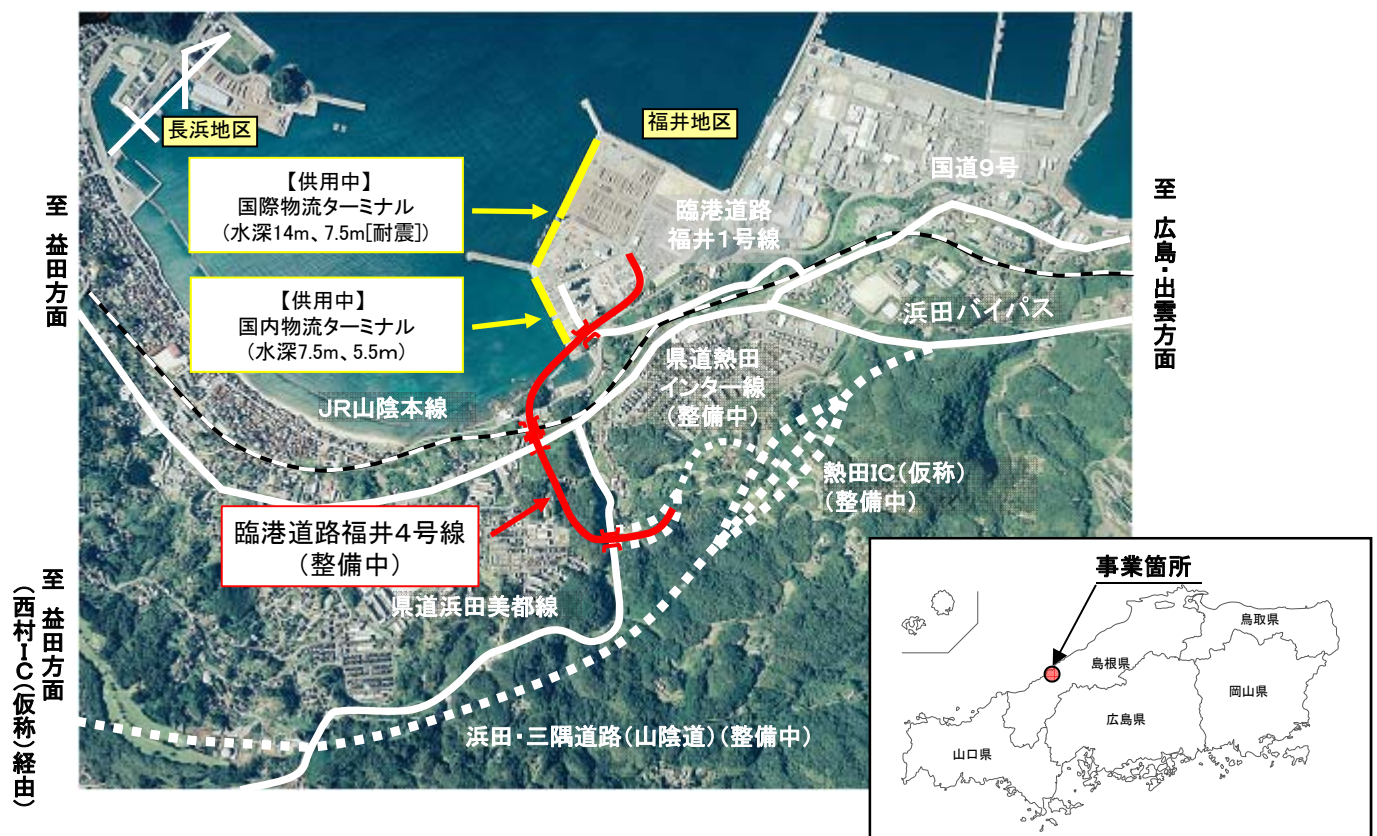
本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の競争力強化、雇用の確保等に寄与します。

また、日本海側の物流機能が強化されることで、大規模地震等の被災リスクの高い瀬戸内・太平洋側地域のリダンダンシーの確保、粘り強い国土軸の形成に寄与することが期待されます。

事業推進

浜田港福井地区は、国際コンテナ貨物や、石炭、原木等を扱う主要埠頭であるが、既存の臨港道路福井1号線は、混雑の激しい幹線国道に接続していることから、渋滞にともなう輸送コストの負担増を強いています。加えて、将来増加が見込まれる貨物量に鑑みると、既設臨港道路の交通容量不足が深刻化し、利用企業の競争力の低下等が懸念されています。

このため、浜田港周辺で整備が進められている山陰道等の道路ネットワークと連携し、更なる増加が見込まれる貨物を、安全かつ効率的に輸送するため、臨港道路福井4号線の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、山陰道等の高速道路ネットワークの効果を最大限に活用することが可能となり、輸送コストの削減、各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

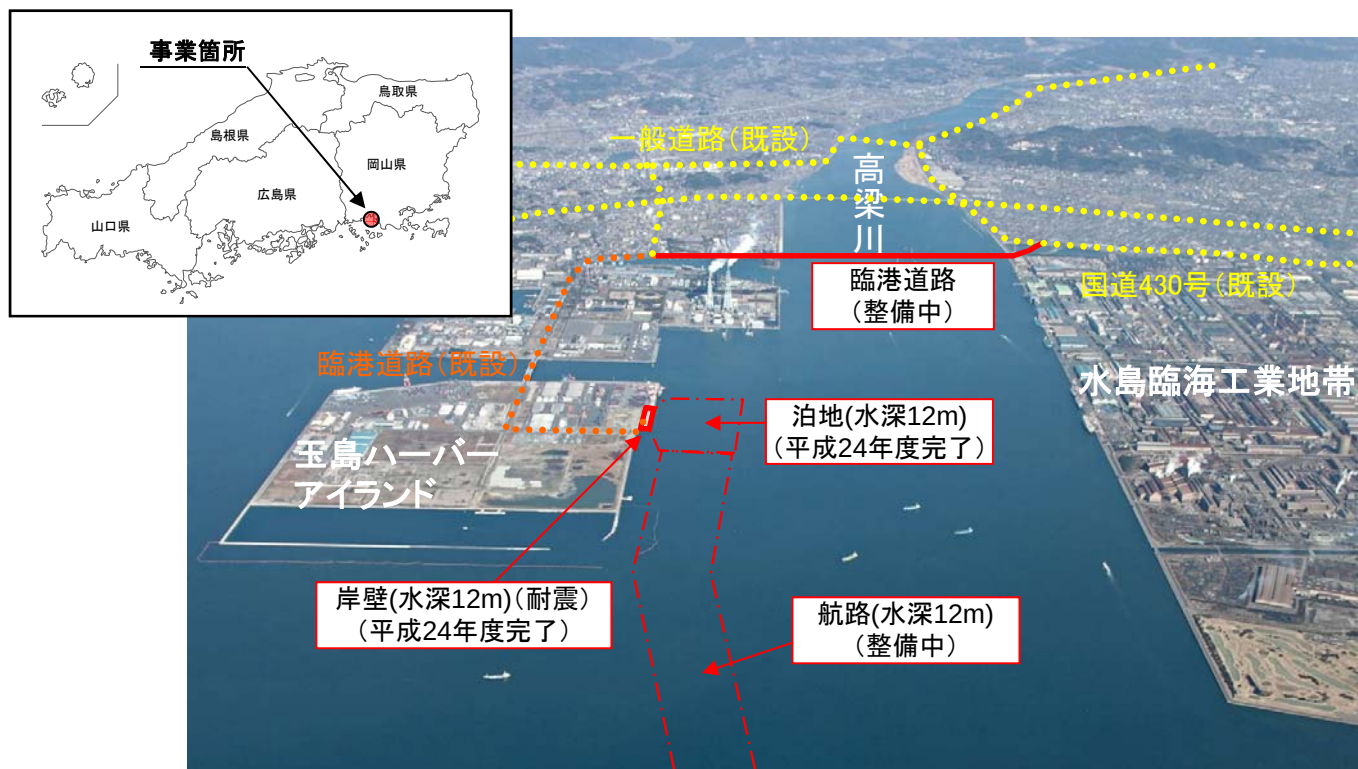
また、大規模地震発生時には、背後圏の経済活動をできる限り早期に回復することに寄与します。

事業推進

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港湾です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や、玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナル「航路（水深12m）」の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、物流コストの削減、産業競争力の強化を図り、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化を通じ、粘り強い国土軸の形成に寄与します。

事業推進

国際拠点港湾であり、平成23年5月には国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）にも選定された水島港においては、今後、船舶の大型化への対応等の機能強化を効率的に進めるため、浚渫土砂の処分先を確保することが喫緊の課題となっています。

このため、水島港玉島^{たましま}地区において、浚渫土砂を受け入れるための埋立護岸の整備を推進します。



期待される整備効果

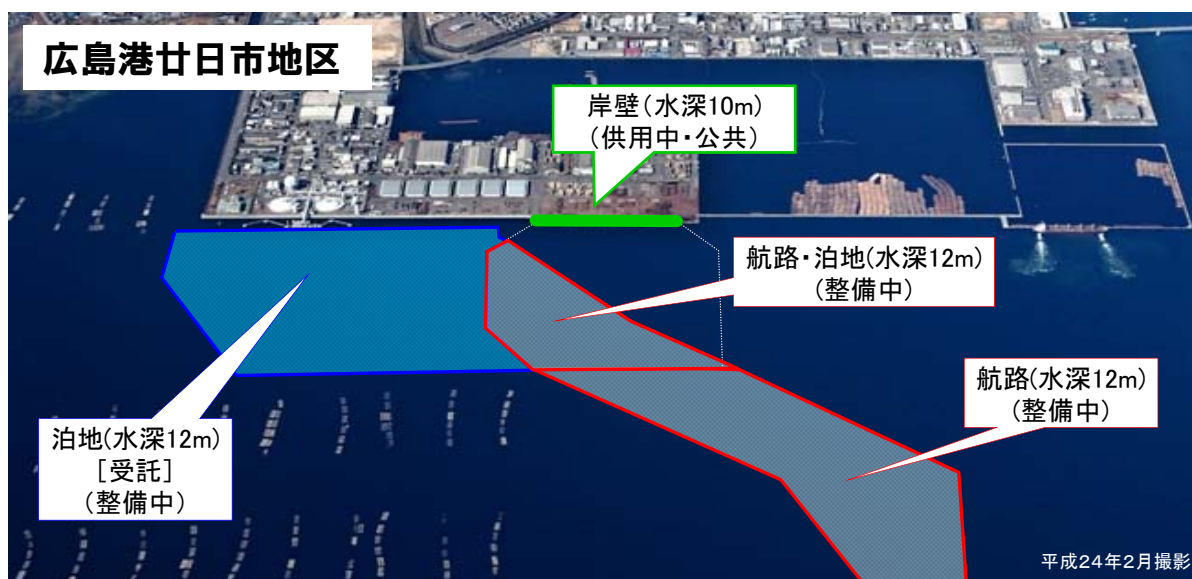
本事業により、航路・泊地の機能強化に伴う浚渫土砂の効率的な処分が可能となり、水島港における事業効果の早期発現に寄与します。

事業推進

広島港廿日市地区は、広島港における輸入貨物の約5割を占め、各種製造業のエネルギー源としての需要が拡大しているLNG(都市ガスの主原料となる液化天然ガス)の一大輸入拠点です。

しかしながら、広島港の施設は、水深の制約により世界標準の大型船が利用できないことから、輸送コストの増加を招いており、対策が急務となっております。

そのため、安定的かつ安価なエネルギー供給による各種製造業の競争力の確保を図るため、官民の連携により、水深12mの航路・泊地の整備を推進します。



期待される整備効果



本事業により、LNGの安定的かつ安価な供給が図られ、LNGを利用する各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

本事業を契機とした利用再編等を通じ、広島港の更なる高度利用に資することが期待されます。

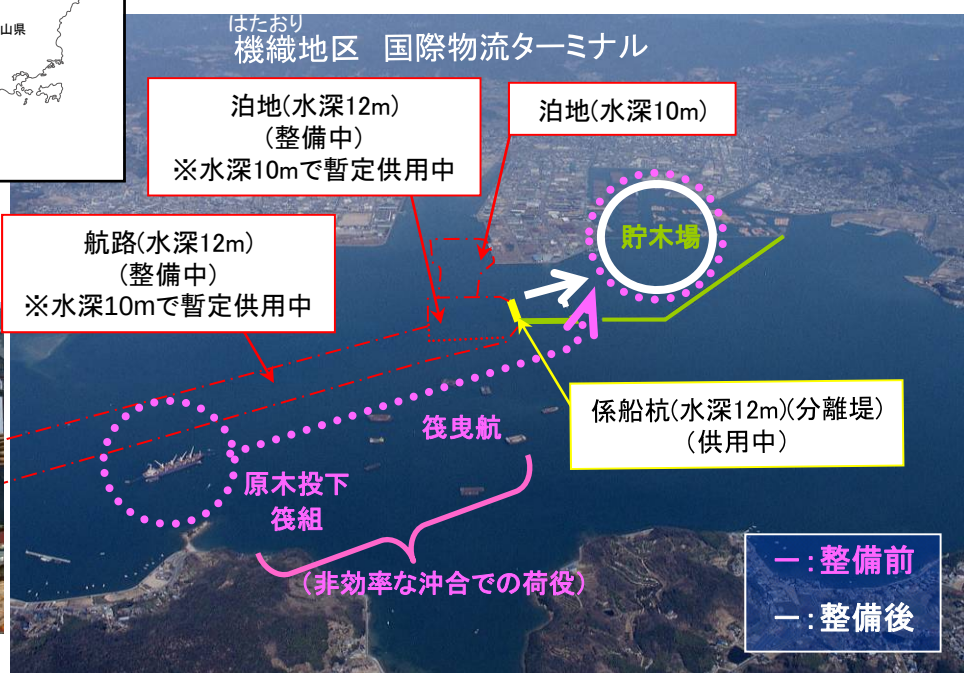
事業推進

尾道糸崎港は、主に輸入原木を取扱う船舶の大型化への対応や、港内での筏輸送で生じる木皮流出による環境悪化への対応が、地域産業の競争力を確保する上で課題となっています。

このため、大型船による効率的な輸送に対応する国際物流ターミナル(水深12m等)の整備を推進します。併せて、発生する浚渫土砂を有効活用して、干潟の造成にも取り組んでいます。



【原木水面投下状況】



期待される整備効果

本事業により、木材運搬船の大型化への対応が可能となり、海上輸送の効率化による地域産業の競争力向上や雇用の確保及び港内環境の改善に寄与します。

併せて、干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。

事業推進

中国地方整備局では、航行船舶の安全確保や海域環境の保全を図るため、広島県呉市に基地を置く海面清掃船「おんど2000」により、瀬戸内海に浮遊するごみの回収を実施しています。

なお、平成23年度には約1,660m³を回収しており、過去最高の年度別回収量を記録するなど、近年はごみの回収量が増加しています。

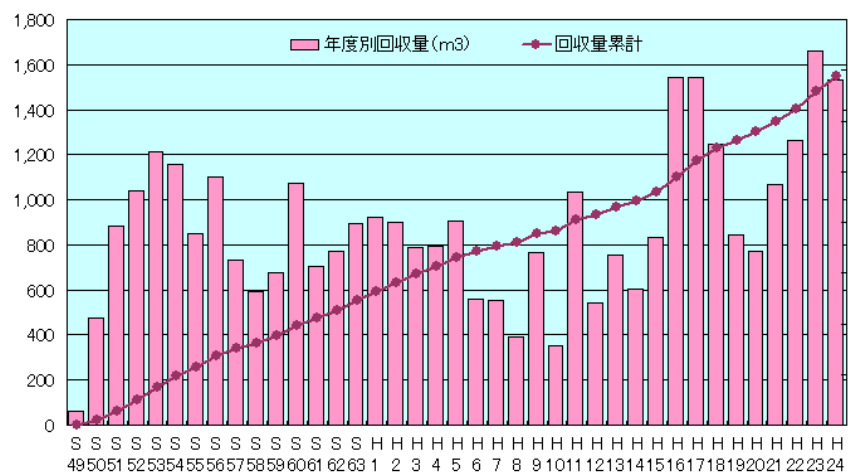


海面清掃船「おんど2000」諸元

1. 全長 30.70m
2. 全幅 11.60m
3. 深さ 3.34m
4. 総トン数 144トン
5. 航行速力 14.5ノット
6. 機関出力 749kW×2台
7. ごみコンテナ 25m³×2台



年度別回収量実績[m³]



浮遊ごみの回収量実績(S.49～H24)

期待される事業効果

本事業により、浮遊ごみを原因とする海難事故を未然に防ぎ、また、海岸等に漂着するごみの低減にもつながることにより、航行船舶の安全確保や海洋環境の保全に寄与しています。

完成予定

広島空港は、中国地方の拠点空港であり、国内外の航空ネットワークと背後圏の経済活動を支えるため、重要な役割を担っています。

しかし、同空港の主要アクセス手段である大型バスの待機場や乗降場が不足しており、利用者の安全でスムーズな乗降が困難なほか、構内道路の安全な車両通行や駐車場に入りきれない大型バスが、やむを得ず路上駐車している。視認性の悪化により、歩行者、車両双方の安全性の低下を回避するため、平成25年度の完成を目指し、駐車場(バスプール)の改良整備を推進します。



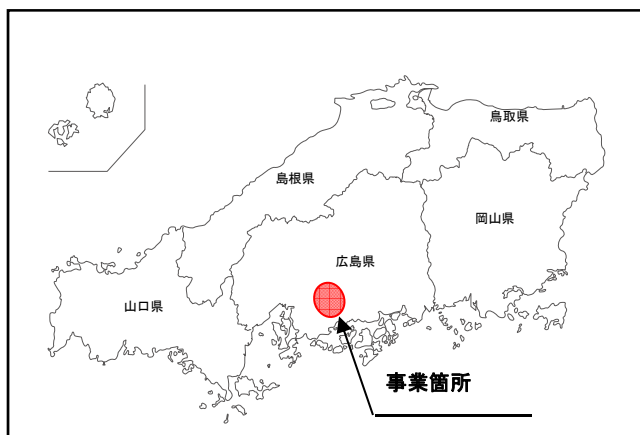
期待される整備効果

本事業により、利用者の安全でスムーズな乗降及び、構内道路において安全な車両通行が確保できます。

新規着手

広島空港は、中国地方の拠点空港であり、国内外の航空ネットワークと背後圏の経済活動を支えるため、重要な役割を担っています。

しかし、滑走路については、路面調査の結果から、舗装の経年劣化による強度低下やひび割れなど悪化している部分を確認されたことから、特に損傷の著しい部分について、改良整備に着手します。



舗装表面の経年劣化によるひび割れの発生



滑走路改良整備

期待される整備効果

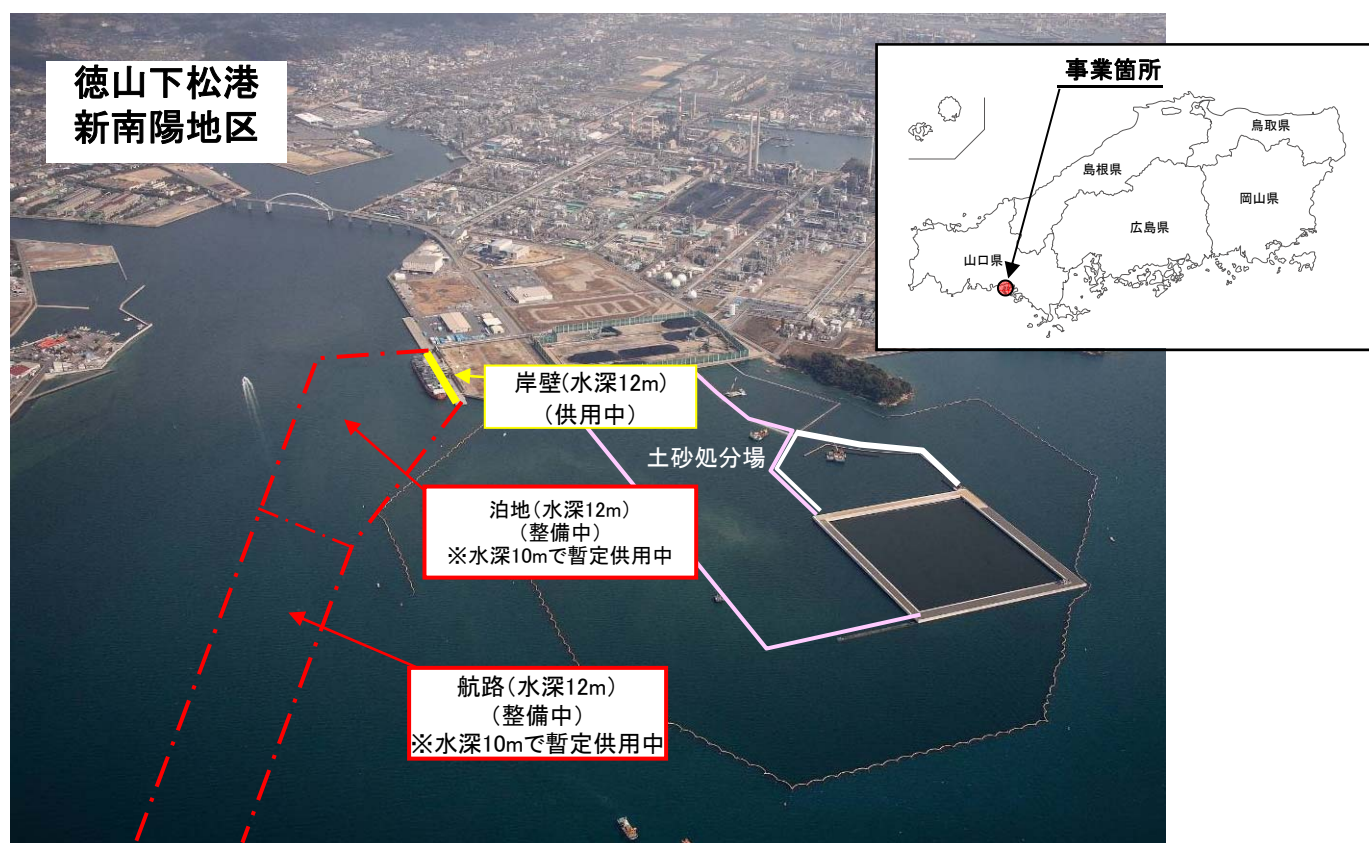
航空機の安全かつ安定した運航を確保することができるため、今後も我が国の国際・国内航空ネットワークの拠点としての重要な機能を発揮することができます。

事業推進

徳山下松港の背後には基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾（石炭）に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、大型船が使用可能な岸壁が不足していることから、立地企業の生産拡大と輸送船の大型化に対応した港湾機能の強化を進めることが喫緊の課題となっています。

このため、新南陽地区^{しんなんよう}において、国際物流ターミナル（水深12m）の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、石炭等の原材料の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

併せて干潟造成により、海域環境の保全に資することが期待されます。

徳山下松港国内物流ターミナル改良（耐震）事業（山口県）

港-13

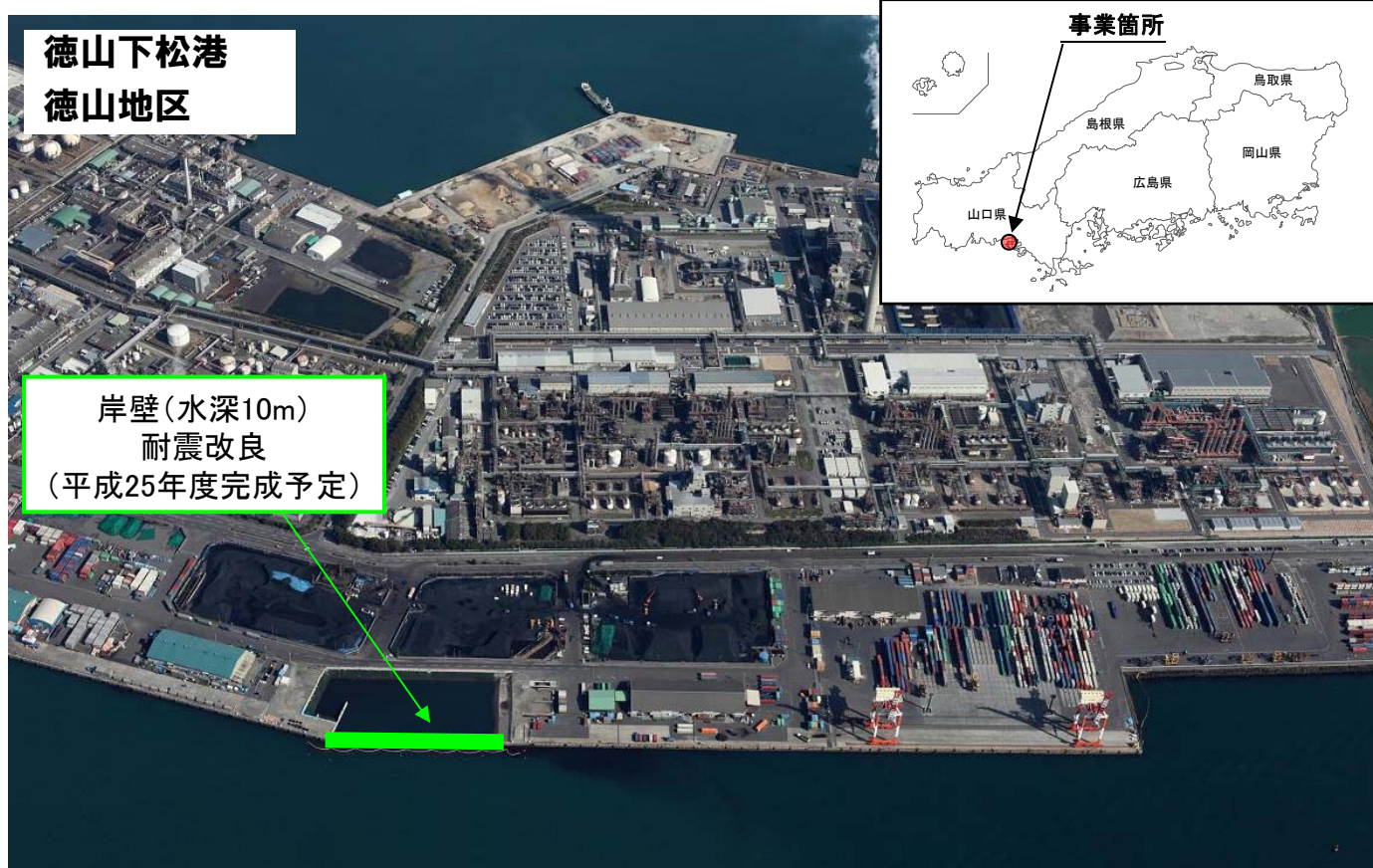
事業費50百万円

完成予定

とくやまくだまつ

徳山下松港は、山口県地域防災計画において災害時の広域輸送拠点（海上輸送基地）に指定されています。しかしながら、徳山下松港には耐震強化岸壁が未整備であり、大規模地震発生時の緊急物資の輸送などに対応した施設の確保が喫緊の課題となっています。

このため、切迫する大規模地震発生時における物流機能の維持等のため、平成25年度の完成を目指し、既存岸壁（水深10m）の耐震改良を推進します。



期待される整備効果

本事業により、大規模地震発生時において、緊急物資等の海上搬送経路が確保されるとともに、地域の経済活動のできる限り早期の復旧に貢献することが期待されます。

事業推進

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として、地域経済を支える重要な役割を担う港湾です。

しかし、主要な交通網となっている国道2号は慢性的な渋滞状態にあり、円滑な港湾物流に支障をきたしています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。



期待される整備効果

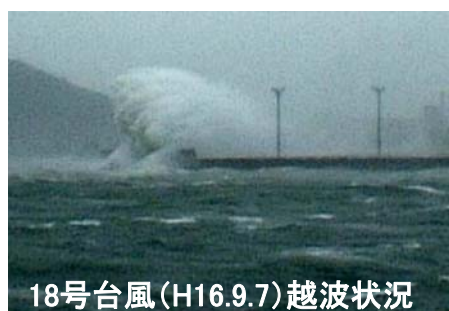
本事業より、岩国港で取り扱う港湾貨物の陸上輸送コストが削減され、地域経済の発展に寄与します。

また、生活道路を通行していた港湾関連の大型車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

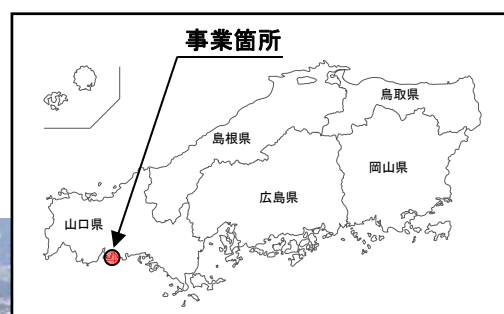
完成予定

三田尻中関港^{みたじり}三田尻地区では、港内静穏度が確保されていないことから非効率な荷役作業を強いられており、また、台風来襲時には高潮・波浪による護岸の崩壊及び越波による浸水被害も発生しています。

このため、安全かつ効率的な荷役による物流効率化と船舶入出港時の安全性向上を図るため、平成25年度の完成を目指し、三田尻地区^{みたじり}において防波堤整備を推進します。



18号台風(H16.9.7)越波状況



三田尻地区



防波堤(西)
(平成25年度完成予定)

防波堤(東)
(整備完了)

期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が確保でき、船舶航行及び荷役作業の安全性と効率性の向上が図れるとともに、港湾施設の施設災害を回避することが可能となります。

事業推進

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路・泊地が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路・泊地の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、大型貨物船による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

完成予定

広島港湾合同庁舎は、防災拠点として所要の耐震性能を満たしていないため、人命の安全の確保及び災害応急対策活動の拠点施設としての防災機能の強化と災害に強い地域づくりを図るため、総合的な耐震安全性を確保するため、耐震改修を行い平成25年度に完成を目指します。



広島港湾合同庁舎耐震改修完成予想図

【整備概要】

- 構造・規模
鉄骨鉄筋コンクリート造7階建
延べ面積 9,868㎡
- 入居官署
第六管区海上保安本部
他7官署
- 耐震工法
 - ◆ 南北面
外付耐震PCフレーム補強
 - ◆ 東西面
外付耐震壁補強
- 整備予定年度
平成24～25年度

期待される整備効果

- 耐震改修により、災害応急対策活動の拠点施設としての役割を迅速かつ確実にこなせる安全で安心な庁舎となる。
- 現庁舎壁面を生かすことで、長年にわたり地域に慣れ親しまれてきた庁舎のイメージを守りつつ、所要の耐震性能を確保することが出来る。